

教 育 要 覧

令 和 2 年 度



大町市立第一中学校60周年

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	6
5	関係委員会等.....	7
6	教育委員会の組織.....	9
7	教育委員の事務分掌.....	10
8	教育予算.....	13
9	教育行政のあゆみ.....	15
II	学 校 教 育	29
1	市内小中学校.....	31
2	学校施設.....	41
3	学校別児童生徒及び学級数.....	42
4	小中学校教職員数.....	44
5	外国人英語指導助手.....	45
6	通学区.....	45
7	小規模特認校制度.....	46
8	山村留学生受け入れ状況.....	46
9	就学援助.....	47
10	中学校卒業後の状況.....	49
11	奨学金.....	51
12	私学振興.....	53
13	教員住宅.....	53
14	コミュニティスクール.....	54
15	教育支援委員会.....	56
16	特別支援教育.....	56
17	キャリア教育.....	58
18	中間教室.....	59
19	不登校・いじめの状況.....	60
20	いじめ防止対策.....	61
21	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	64

22	通学の安全確保に関する取り組み	65
23	学校給食	67
Ⅲ	生涯学習推進と社会教育	69
1	生涯学習・社会教育	72
2	青少年	74
3	文化財	76
4	人権教育	91
5	公民館	97
6	図書館	101
7	山岳博物館	107
8	民俗資料館	112
9	文化会館	114
10	女性未来館ピュア	116
11	大町市文化財センター	118
12	重要文化財旧中村家住宅	118
13	社会教育施設一覧表	119
Ⅳ	社会体育	121
1	社会体育	122

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であった大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の北西部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地は旺盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929
28	11,844	28,517	13,861	14,656

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
平成29年	11,871	28,124	13,691	14,433
30	11,910	27,741	13,478	14,263
令和元年	11,893	27,356	13,289	14,067
令和2年	10,905	25,978	12,608	13,370

4 教育委員、理事者

(1) 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
教育長	荒井今朝一	平21.4.1 再任 平25.4.1 再任 平29.4.1	大町市平（源汲）	教育長就任 平21.4.1
同職務代理者	中山晴隆	平29.5.17 再任 令3.1.1	大町市常盤（清水）	教育長職務代理者就任 平30.2.6
委員	仲原直美	平26.9.26 再任 平30.9.26	大町市美麻（大塩南村）	
委員	甘利道子	平30.2.6	大町市大町（大原町）	
委員	下川清志	令元.8.13	大町市社（宮本）	

(2) 理事者

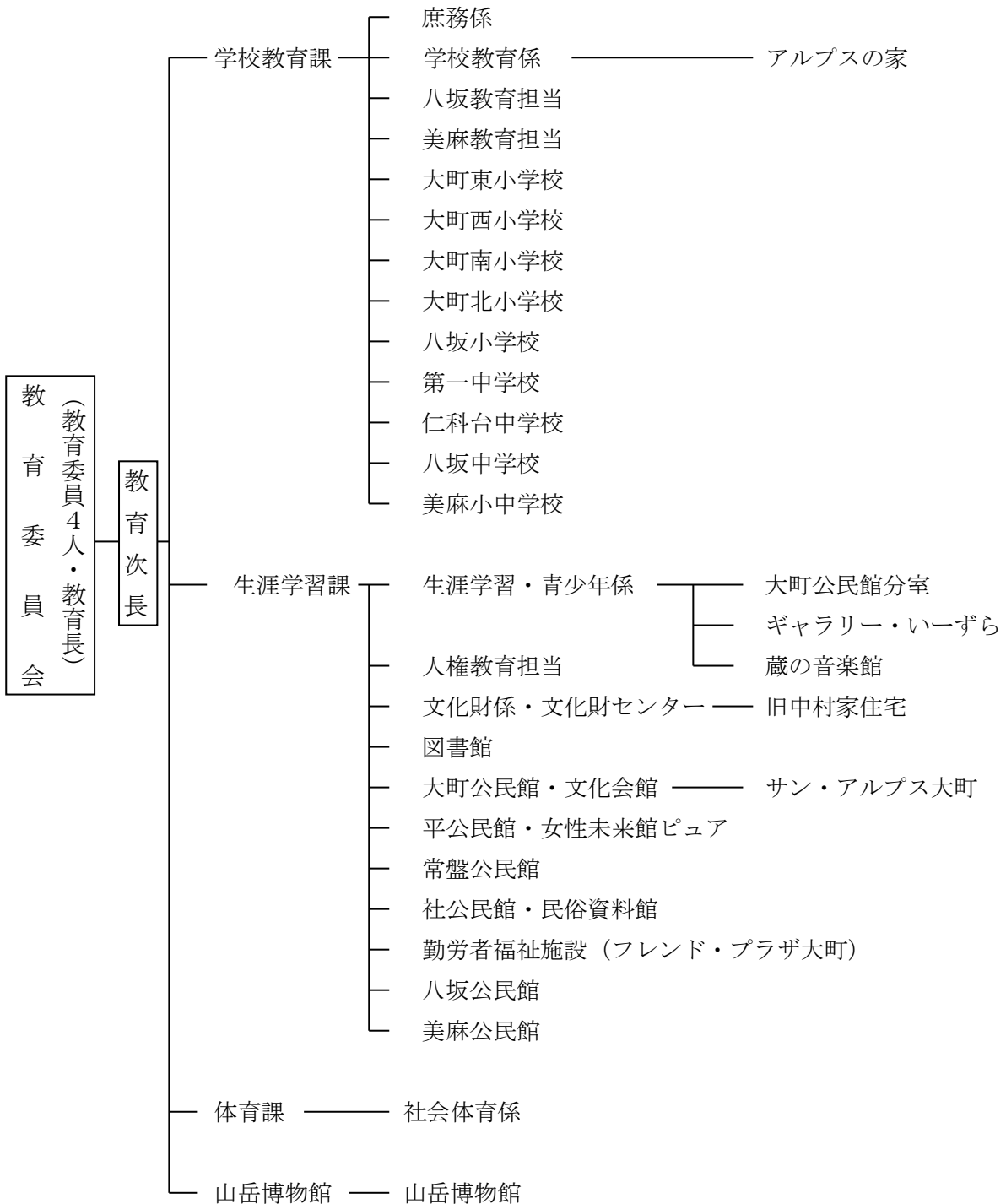
役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
市長	牛越徹	平18.7.14	大町市常盤（泉）	
副市長	矢花久則	令2.4.1	大町市大町（南原町）	

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教育支援委員会	大町市教育支援委員会設置条例	22 以内	2
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
情報教育推進委員会	大町市情報教育推進委員会設置要綱	10 "	1
通学路安全推進会議	大町市通学路安全推進会議設置要綱		1
学校運営協議会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	3
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
大町市立学校通学区 域再編審議会	大町市附属機関に関する条例	10 以内	
大北地域における高等学校 の将来を考える協議会	大北地域における高等学校の将来を考える協議会設置要綱		
社会教育委員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
常盤公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
社公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
八坂公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
美麻公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
図書館協議会	市立大町図書館設置および管理に関する条例	7 "	2
山岳博物館協議会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文化会館運営委員会	大町市文化会館条例	10 "	2
女性未来館ピュア 運営委員会	大町市女性未来館ピュア設置および管理に関する条例	8 "	2
文化財保護審議会	大町市文化財保護条例	7 "	2
青少年問題協議会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
青少年補導委員協議会	大町市青少年補導委員協議会会則		2
子ども会育成連絡協議会	大町市子ども会育成連絡協議会規約		1
青少年育成市民会議	大町市青少年育成市民会議規約		2
人権教育推進協議会	大町市人権教育推進協議会規約	30 以内	2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱	各校1名	1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		1

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
人権・同和教育推進懇談会	人権・同和教育推進懇談会設置要綱	10 以内	2
生涯学習のまちづくり 推 進 本 部	大町市生涯学習のまちづくり推進本部設置要綱		2
美術振興専門委員会	大町市附属機関に関する条例	10 以内	2
科 学 振 興 会	大町市科学振興会規約		
八坂、美麻山村留学 推 進 協 議 会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20 "	2
学校施設開放運営協議会	大町市立学校の施設の開放に関する規則	15 以内	

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

課	係	事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願及び陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内中等 12. 学校医等 13. 教職員の健康診断等 14. 児童生徒の就学援助 15. 特別支援教育就学奨励費 16. 奨学金 17. 文書の受付及び発送 18. 公文書の公開 19. 個人情報の保護 20. 私学助成 21. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 22. 児童生徒の就学 23. 教科書事務 24. おおまちの子表彰 25. 学校業務改善 26. 学校給食費の徴収管理
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. 情報教育 8. 学校運営協議会（学校運営委員会） 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 中間教室 18. 教育相談 19. 学校保健、児童生徒の健康診断 20. 外国語教育
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理 7. 学校給食共同調理場の運営
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

課	係	事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育計画 4. 社会教育委員 5. 社会教育関係施設・係の連絡調整 6. 社会教育関係団体の指導助言 7. コミュニティ施設整備支援 8. 大町公民館分室 9. 蔵の音楽館 10. 文化・芸術の振興 11. 美術振興専門委員会 12. ギャラリー・いーずら 13. 成人式 14. 科学振興 15. 信濃木崎夏期大学 16. エネルギー博物館 17. リーダーバンク 18. 青少年問題協議会 19. 青少年センター 20. 青少年補導委員協議会 21. 青少年育成市民会議 22. 子ども会育成連絡協議会 23. 青少年関係団体
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 人権・同和教育推進懇談会 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 活動団体の育成
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障がい者サービス 9. 広報 10. 読書推進
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理
	女性未来館 ピュア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示

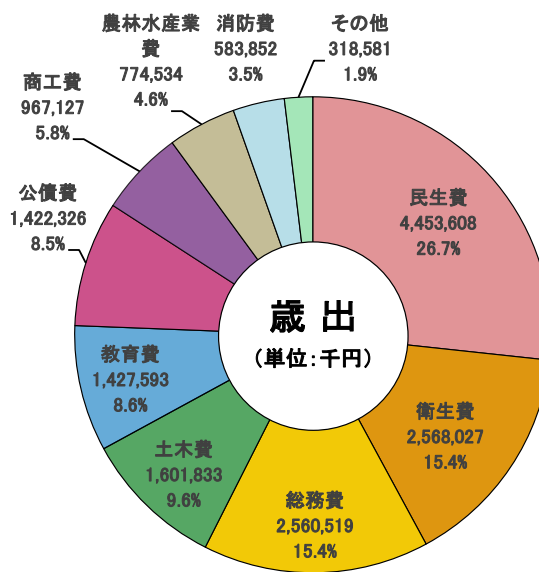
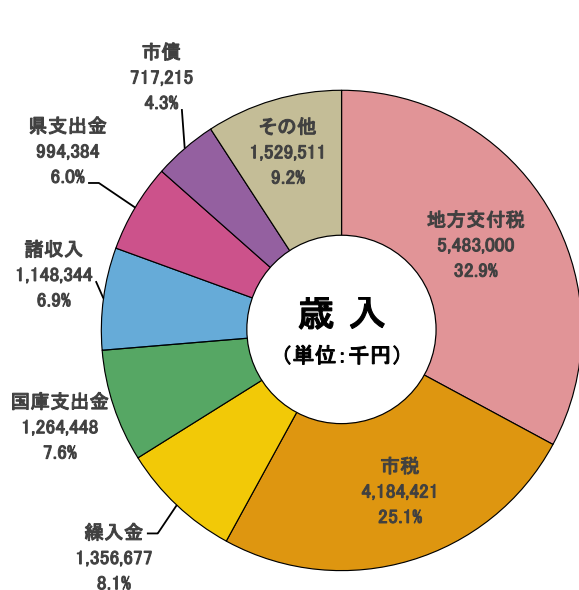
課	係	事 務 分 掌
社会教育施設	八坂情報コミュニティセンターアキツ	1. 運営、管理
体 育 課	社会体育係	1. 社会体育総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館	山岳博物館	1. 博物館資料の収集・整理・保管 2. 調査研究 3. 教育普及 4. 案内窓口・展示レファレンス活動 5. 展示業務（常設展示・企画展示・特別展示） 6. 動植物飼育栽培繁殖 7. 山岳図書資料館の管理 8. インターネット・ウェブサイトの運営 9. 「山と博物館」等の情報発信 10. 資料の受贈・受託及び貸出 11. 年報・紀要の発行 12. 山岳博物館協議会 13. 大町博物館連絡会との連携 14. 信州大学山岳科学研究所等との研究協力 15. 友の会等関係団体との提携 16. アートライン連絡会との連携 17. 長野県山岳総合センターとの連携

8 教育予算

(1) 令和2年度一般会計当初予算

歳入 16,678,000千円

歳出 16,678,000千円



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予算額	構成比		区 分	予算額	構成比	
1 市 税	4,184,421	25.1 %		1 議 会 費	151,818	0.9 %	
2 地 方 譲 与 税	208,552	1.3		2 総 務 費	2,560,519	15.4	
3 利 子 割 交 付 金	5,000	0.0		3 民 生 費	4,453,608	26.7	
4 配 当 割 交 付 金	10,400	0.1		4 衛 生 費	2,568,027	15.4	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	7,000	0.0		5 労 働 費	136,762	0.8	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	32,000	0.2		6 農 林 水 産 業 費	774,534	4.6	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	642,000	3.8		7 商 工 費	967,127	5.8	
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,500	0.0		8 土 木 費	1,601,833	9.6	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	17,000	0.1		9 消 防 費	583,852	3.5	
10 地 方 特 例 交 付 金	16,220	0.1		10 教 育 費	1,427,593	8.6	
11 地 方 交 付 税	5,483,000	32.9		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,500	0.0		12 公 債 費	1,422,326	8.5	
13 分 担 金 及 び 負 担 金	57,969	0.3		13 予 備 費	30,000	0.2	
14 使 用 料 及 び 手 数 料	280,764	1.7					
15 国 庫 支 出 金	1,264,448	7.6					
16 県 支 出 金	994,384	6.0					
17 財 産 収 入	14,606	0.1					
18 寄 付 金	33,000	0.2					
19 繰 入 金	1,356,677	8.1					
20 繰 越 金	200,000	1.2					
21 諸 収 入	1,148,344	6.9					
22 市 債	717,215	4.3					
歳 入 合 計	16,678,000	100.0		歳 出 合 計	16,678,000	100.0	

(2) 令和2年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		122,694
	1 教育委員会費	4,669
	2 事務局費	118,025
2 小学校費		315,805
	1 小学校管理費	140,241
	2 小学校教育振興費	175,564
3 中学校費		145,843
	1 中学校管理費	57,017
	2 中学校教育振興費	88,826
4 社会教育費		359,226
	1 社会教育総務費	79,023
	2 青少年費	6,383
	3 公民館費	104,577
	4 図書館費	50,087
	5 文化会館費	107,435
	6 文化財保護費	11,721
5 保健体育費		380,690
	1 体育振興費	60,036
	2 体育施設費	66,242
	3 学校給食費	254,412
6 山岳博物館費		103,335
教育費合計		1,427,593
5 労働費		8,600
1 労働諸費	2 労働施設費	8,600

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施 ～
9 日
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市
議会へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを
市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築され
るまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計
画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9 第 12 回県美術展(大町公民館) ～13 日
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
- 36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
- 4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
- 12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
- 37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
- 6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
- 11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
- 38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
- 39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
- 40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
- 4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
- 9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
- 41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
- 42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
- 4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
- 4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
- 43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
- 44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
- 45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校) ～2 日
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会 ～31 日
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15 第 33 回国民体育大会やまびこ国体 ～20 日
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16 仁科神明宮遷宮祭 ～18 日
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
～5月5日
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
- 3.13 東小学校校歌発表会
- 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
- 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
- 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
- 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
- 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
- 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
- 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
- 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
- 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
- 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
- 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
- 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
- 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
- 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
西小学校開校
図書館に障がい者用便所を増築、完成
- 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
- 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
- 7. 1 市制 30 周年記念式典
市史第 1 巻・第 5 巻刊行
- 7. 9 西小学校プール完成
- 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
- 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
- 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、
ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
- 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
- 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
- 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
- 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足
民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)

- 4. 1 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公
開始まる
- 7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
- 9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
- 11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億
5,000 万円)
- 61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
- 3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいがインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に
死亡)
- 4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部 ～27 日
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技 ～31 日
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
- 11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
- 11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
- 62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
- 4. 3 南小学校開校・入学式
- 4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
- 5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)
- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)

- 9.20 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人) ～30 日
- 11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
- 63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
「市内遺跡分布調査報告書」発刊
家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
「来見原遺跡調査報告書」発刊
- 4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
- 8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインSTEIN氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
- 11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場) ～30 日
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
- 4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
勤労青少年ホームを補助執行
- 4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
- 7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催 ～29 日
- 10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
- 2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
- 3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
- 3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)
- 3.15 市科学振興賞 第 1 回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2 億 300 万円)

- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人 ～20日
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4～6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがい贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
～8月25日
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) 〃
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命
- 6. 2 カモシカ2頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手プリンデーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了

- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
～30 日
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23 第 1 回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催 ～24 日
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊
- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)

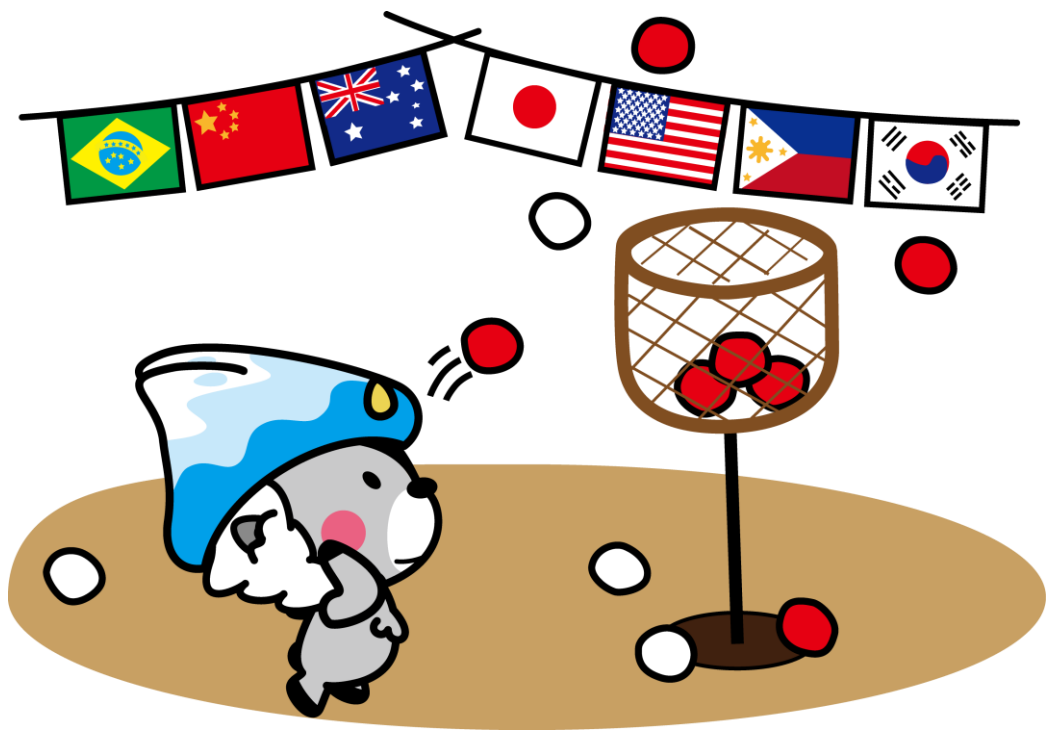
- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3. 「郷土学習冊子」新訂版発行
 - 3. 新図書館竣工
 - 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第3期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12戸)
- 11. 4. 平成14年度から実施の総合的な学習の時間の試行事業として、大町市公民館が企画運営する学社融合事業を北小学校5年で1年間授業として実施
 - 8. 大町市と坂北村の子ども会交流会を坂北村で開催(翌年は平公民館で開催)
- 11.10. 1 新図書館オープン
 - 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連10年推進本部設置
 - 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
 - 8.31 第1回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
 - 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
 - 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
 - 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
 - 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
 - 9.24 山岳博物館創立50周年記念登山。爺ヶ岳
 - 9.28 第15回全日本シニアソフトボール大会開催(48チーム) ~30日
- 10. 「第2次大町市生涯学習推進プラン」発刊
 - 10.13 山岳博物館50周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
 - 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
 - 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
 - 3.15 山岳文化都市宣言
 - 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費3,980万円)
 - 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
 - 5.24 第20回全国シニアソフトボール大会開催(96チーム) ~27日
 - 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
 - 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
 - 4. 第4期「大町市社会教育計画」発刊
 - 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
 - 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
 - 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工
 - 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式

- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
 - 6.10 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会(～11)
 - 第 10 回北信越シニアソフトボール大会(～11)
 - 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
 - 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
 - 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
 - 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
 - 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 // チェロ アントニー発令
 - 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
 - 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
 - 11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令
- 26. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)

- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26. 3 「第4次大町市生涯学習プラン」発刊
「大町市スポーツ推進計画」策定
- 26. 4. 1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8. 3 外国人英語指導助手マッケイ クリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
- 27. 3 「ふるさと・きのう・きょう・あした 私たちの大町」新訂第4版発行
- 27. 4. 1 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
- 7. 4 山岳博物館ライチョウ舎竣工式
- 7.18-19 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
- 10.31 大町東小学校 35周年記念式典
- 11.17 第1回大町市総合教育会議
- 28. 1.25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 28. 3 常盤公民館太陽光発電設備設置
- 3.31 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校
- 28. 4. 1 長野県大町岳陽高等学校開校
大町南小学校及び大町北小学校に学校運営委員会設置
(コミュニティスクール化)
- 28. 4 生涯学習リーダーバンク制度改定
- 6.21 乗鞍岳よりニホンライチョウの卵を山岳博物館にて受入れ、飼育開始
- 7.16-17 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.19 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルス銅メダル獲得
- 8.29 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
(祝賀パレード、銅メダルをお祝いする会開催)
- 9.30-10.1 美麻小中学校 40周年記念梨の木祭
- 10. 1 仁科台中学校 50周年記念式典
- 10.15 ライチョウ会議長野大会開催(於:大町市文化会館)
- 10.21 大町北小学校 40周年記念音楽会
- 28. 10 長野県信濃美術館移動展開催(ギャラリー・いーずら)
- 12. 8 美麻小中学校「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞
- 12.10 ニホンライチョウ2羽逸出(うち1羽についてはその日のうちに捕獲)
- 12.11 大町市文化会館開館 30周年記念式典
- 12.28-29 第3回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施

- 29. 3 第7期大町市社会教育計画策定
- 29.3.31 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪(氷河)調査団活動終結(26～28年度)
 - 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
外国人英語指導助手 カマゼルト ショーン氏任命(派遣)
 - 5.17 中山晴隆氏教育委員に任命
 - 7.2 ニホンライチョウ第2世代(大町産卵)雛誕生
 - 7.14 ニホンライチョウ第2世代(上野産卵)雛誕生
- 7.22-23 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
 - 8.1 外国人英語指導助手 赤羽 タミー氏任命
 - 8.27 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、第23回世界バドミントン大会女子シングルス金メダル獲得
 - 9.29 大町市運動公園 第二屋内運動場竣工
 - 9.30 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 12.29 第4回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施
- 30.1.1 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪が正式に氷河として認められる。
 - 1.5-8 第1回 北アルプスバドミントンオープン2018開催
 - 2.6 甘利道子氏教育委員に任命
 - 3.12 山岳博物館付属園 新ライチョウ舎竣工
 - 4.1 外国人英語指導助手 グレニー ケビン氏任命(派遣)
 - 4.15 山岳博物館友の会創立40周年記念パーティー開催
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
 - 8.6 外国人英語指導助手 リム ファミン氏任命
 - 9.26 仲原直美氏教育委員に任命(再任)
- 31.3.1 校務支援システム全校稼働
 - 4.1 学校給食費公会計化
- 令和元 7.13-15 北アルプスバドミントンオープン2019～国際ジュニアオープン大会 in 大町～開催
 - 8.13 下川清志氏教育委員に任命
 - 8.19-25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、世界バドミントン選手権大会2019女子シングルス銀メダル獲得
- 4.21-10.19 大町市出身(西小、仁科台中卒業)上田瑠偉選手、スカイランナーワールドシリーズでアジア人・日本人初となる年間総合優勝
 - 10.5 図書館開館20周年記念事業
 - 11.9-17 国宝仁科神明宮式年造替に併せて仁科氏歴史文化展を宮本公民館で開催
 - 11.15-17 国宝仁科神明宮遷宮祭
- 2.3～5月 新型コロナウイルス感染防止のため市内全小中学校臨時休業
 - 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
 - 6.26 大町市立学校通学区域再編審議会発足
 - 10.27 大町市立学校通学区域再編に関わる市民説明会
 - 10.31 第一中学校60周年記念式典

II 学 校 教 育



学 校 教 育

基 本 方 針

これからの学校教育は、生涯学習の基礎づくりをすることを前提において、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応しうる心豊かでたくましい人間性を培うことを目標とします。そのために、以下のことを視点にすえて具現を図っていきます。

- 1 常に、自発的・創造的に学び続ける強い意志と態度を育むために、一人ひとりが自分の課題をもち、自ら追求する問題解決的な学習や体験学習をとおして、学び方が身につくようにします。
- 2 発達段階に応じた基礎的・基本的な学習内容の習熟、生活の仕方についての能力と習慣の形成を図ります。
- 3 一人ひとりの個性や能力を生かすことを中心として、個性ある学級、特色ある学級づくりを進めます。
- 4 大町市の宝である自然や、仁科文化、山岳文化などを土台とした、豊富な地域素材を学習課程に位置づけて、郷土に対する理解と郷土愛の心を育てます。
- 5 学校の教育機能や施設を地域へ広く開放するとともに、地域の教育力を学校へ生かしていくように努めます。また、児童生徒の調査や観察、実習などの体験活動を地域ぐるみで促進します。
- 6 心身に障がいをもつ児童生徒が社会的に自立できるよう、障がいの種類や程度に応じた教育を推進します。
- 7 児童生徒が助け合い支えあう中で、各種ボランティア活動への積極的な参加を図るとともに、福祉教育や環境教育、安全教育、同和教育、性教育などの内容を充実します。

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	まる やま しん いち 丸 山 伸 一	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4773番地3	よし ぎわ きよし 吉 澤 清	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	やま ぎき あきら 山 崎 晃	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	みや いっ かつ ひこ 宮 入 勝 彦	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190
八 坂 小 学 校	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	さくら い ひろし 櫻 井 洋	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
第一中学校	昭和34年4月1日	大町市大町4528番地	きの した まさ みち 木 下 政 道	TEL. 22-1262 FAX. 22-4779 有線 22-1262
仁科台中学校	昭和40年4月1日	大町市大町3759番地	こし ゆき お 輿 幸 雄	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817
八 坂 中 学 校	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地	かた やま ますみ 片 山 ますみ	TEL. 26-2020 FAX. 26-2020

(3) 義務教育学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
美麻小中学校	平成29年4月1日	大町市美麻27503番地	やま きし すみ お 山 岸 澄 雄	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(4) 中間教室

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	柳 澤 希世美 清 水 眞 弥	TEL. 23-6418

令和2年度 大町東小学校グランドデザイン

【学校教育目標】 『きたえる』『思いやる』『求める』

め
ぞ
す
子
ど
も
像

きたえる ○力を合わせて、ねばり強く本気でやりぬく子ども

思いやる ○自分とまわりの人を大切にする子ども

求める ○友と学びながら自分の考えを表現したいと思える子ども

◎「学び合える」・「認め合える」・「高め合える」子ども

教育課題:「コミュニケーション力」につながる表現力の育成

【重点】

学びづくり

集団(心)づくり

体づくり

◎児童一人一人が主役となる授業づくり、学び合いの楽しさを体感しながら「コミュニケーション力」育成に向けた実践

【カリキュラムマネジメント】

○表現力向上につながるカリキュラム・授業づくり

○相手を意識した企画発表活動の実践と振り返り

【東小学習スタイル】

「つかむ」「さぐる」「ねりあげる」「まとめる」の学習スタイルの構築

○「ねりあげる」場面を重視

・表現①「考えをもつ(理由を付けて)」
↓
伝え合う「話し合う」

↓
表現②「考えを深める」

○話し合い活動の充実
(授業での話し合い活動の設定)
・聴く⇄伝える→振り返る活動の充実

○基礎学力の定着
・ドリルの実施(通年)
・「家庭学習の手引き」の配布

○主体的な学習態度の育成
・自主学習ノート(3年生以上)

◎自分や相手の良さを認め合える集団(仲間)づくり

○居場所のある学級づくり
・楽しい学校生活を送るためのアンケートの実施と活用
*「なかよしアンケート」
*「Q-U」
(PDCAサイクル)

・「聴き方・話し方一覧」の学校生活での活用

○児童会活動
(異年齢での活動の充実)

・あいさつ運動
・遊ぼう東の子
・縦割り清掃
・交流給食
・なかよし月間
→仲間のよさやがんばりを伝え合う「笑顔の葉」での交流

・「東小祭」(児童会祭)の実施

○正しいコミュニケーションについて学ぶ機会
・情報モラル(人権)に関わる授業の実施

◎本校が大切に学ぶ(教師の活動・支援・研修システム)

・児童一人ひとりの学び合う、認め合う心を育て「学び方」を定着する学習システム(学び続ける)の構築と評価
・子どもの自己有用感を高める教師のアプローチ
・行事や地域素材を生かした学習「東小学区の宝」を活用
・校内・校外における「職員研修」の充実
*外部講師の活用など実践につながる研修

◎体力の向上を目指した実践

○年間を通じた継続的な運動
・毎日の「東の子マラソン」への取り組み

○体育的活動で行う多様な運動

・体力テストの実施と活用
・東小ギネス
・運動会
・マラソン記録会
・そり、スキー・スノーボード教室
・大縄ギネス

○健康的な生活習慣の確立

・毎月の健康の日に合わせた「元気しらべ」の実施と活用
・保健室からの意識を高める情報提供
・給食室からの体づくりのための食育への取り組み
・健康委員会の全校集会「東っ子元気集会」での全校への啓発

〈学校・地域・家庭が協力し合い、信頼される学校づくり〉

◎文科型コミュニティ・スクール
(学校運営協議会 年3回)

(地域学校協働本部4つの支援部 行事安全部・学習支援部・環境支援部・総務広報部)

◎子どもの安全を守る地域連絡会

◎グレードアッププラン

◎地域の方々との交流

◎学校運営を振り返るPDCA

(学校評価)・児童アンケート ・保護者アンケート ・教職員自己評価

学校教育目標

自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

～本気で取り組み、常に一流をめざそう～

- めざす子ども像
- ・進んで学ぼうとする子ども
 - ・学び合い、高め合う喜びを感じる子ども
 - ・ふるさとを知り、好きになる子ども

自ら学ぶ

友と学ぶ

仁科の里に学ぶ

教育課題：主体的に学ぶ力・学び合う力の育成

学びづくり

心づくり

ふるさとに学ぶ

- ◎「学び合い、高め合う子ども」の育成に向けた実践
- 対話を核とした「協働の学び」
 - ・3つの学び方【学びのあい言葉】「わからない・まちがいを大切にする教室」「聴こう 友だちの考え」「なっとくするまで考えよう！やってみよう！」
 - 基礎学力定着
 - ・チャレンジタイムの活用
 - ・主体的な家庭学習に向けた「家庭学習の手引き」の活用
 - 体力向上
 - ・西小サーキット・全校体育
 - 全国学調・体カテスト・NRT・NINO
 - ・結果分析、授業への反映
 - ・学び直しの位置づけ
 - キャリア・パスポート（おおまちドリーム）の活用

- ◎子ども一人一人が主役となる学びの環境づくり
- 学級づくり
 - ・居場所があり、認め合える集団づくり
 - ・特別な支援を必要とする児童が安心して学習に取り組める支援と指導の充実（授業のユニバーサルデザイン化）
 - ・学級づくり・学校づくりの根幹となる授業づくり
 - 研修・アンケート等の実施
 - ・集団クラス療育の研修と実践
 - ・楽しい学校生活を送るためのアンケート実施
 - 異学年交流活動の充実
 - ・児童会活動、たてわり清掃 姉妹学級交流等

- ◎「ふるさとを知り、好きになる子ども」の育成に向けた実践
- 総合的な学習の時間を主とした、教科横断的な学習の充実
 - ・地域の人や環境、行事等の地域素材を生かした学習の展開
 - ・探究的・問題解決的な学習の展開
 - ・生活科、行事や特別活動（学級活動）、キャリア教育等の学習との関連づけ
 - ・各学年の実践の集積・活用
 - 学校支援ボランティアの活用
 - ・年間計画への位置づけ



職員の研修システム

- ・個人テーマによる個人研修
- ・専門家を招聘しての全体研修
- ・教務主任や研究主任が企画推進する研修 伝達研修、ガイドライン作成

安全を守る

- ・年3回の避難訓練と集団下校訓練
- ・交通安全教室、引き渡し訓練、防犯教室
- ・登下校指導 ・命を考える日（1/19 2/22）
- ・子どもを守る安全の会

地域とともにある学校
～コミュニティ・スクール～

学校運営協議会

～地域学校協議会本部～
学校支援ボランティア

- 総務広報・学習支援・環境支援・行事安全
- ・子どもの安全を守る地域連絡会
- ・桜の木を守る会、清風会、十日町会、他



令和2年度 大町南小学校の教育(グラウンドデザイン)

学校教育目標 ◎よくまなぶ子 ◎なかよしの子 ◎あかるくげんきな子

めざす学校像

- 一人一人が大切にされ、行きも帰りも笑顔の学校
- 心身ともに健康で、夢に向かい粘り強くチャレンジする学校
- ふるさと「常盤」への愛着を育み、地域と共に歩む学校

- 地域や保護者の願い
- 思いやりのあるやさしい子
 - 自分を大切に自分らしく輝く子
 - ふるさと「常盤」を愛する子

教育理念：子どもが主体性が発揮される楽しい学校

めざす子ども像

- しっかり聴く子
- 粘り強く挑戦する子ども
- 進んであいさつする子ども

合言葉

挑戦しよう、やりとげよう！

- めざす教師像
- やる気を引き出す教師
 - 認め寄り添う教師
 - 学びの環境を整える教師

学びづくり

- よく聴き取り、考えを認め合いながら、粘り強く課題を解決することを通して、資質・能力や自己有用感が高まる学び合い。

体づくり・心づくり

- 松林マラソン・縄跳び・遊び
- 姿勢教室
- 交流活動(異学年・年少者・お年寄り・地域)
- 安全面・健康面への配慮・支援

環境づくり

- 安心して学び合える人間関係づくり
- やってみたくなる場の設定
- 頑張りや成果が認められる振り返りの場

◇全ての子どもが自分らしく学ぶことができる環境づくり(ユニバーサルデザイン化の推進) ◇自分の成長の累積(キャリアパスポート)

主体性を伸ばす学習システム

- 「南小スタンダード」に基づいた授業改善
- 「学びの合い言葉」
- 学力検査・認知能力検査等の活用

教職員の研修システム

- ユニバーサルデザイン研修(UDリーダー)
- 互いの実践に学び合うオープン授業
- 非遵行為防止研修

地域と協働システム

- コミュニティスクールの充実
- 「常盤の達人プログラム」(ふるさと学習)
- 松林再生プロジェクト



令和2年度 大町北小学校グランドデザイン

未来を創る子どもの今を見つめる学校づくり

めざす子ども像 **学び続ける子ども**

— 学校目標 —

かしこく

なかよく

たくましく

教育課題 **考える力・協働する力の育成**

学びづくり

関係づくり

体づくり

大町北小学校「**ガイドライン**」に基づいて実践

◎「主体的な学び合いによって、見方・考え方を広げ、考える力を活性化する子ども」の育成に向けた実践

- ・基礎的な知識・技能の定着に向けた授業の充実
- ・「協働の学び」(主体的・対話的で深い学び)による授業実践
- ・単元の核心の明確化と思考ツールの活用
- ・個人研修テーマの具現に向けたラーニング・コミュニティによる研修
- ・各教科のつける力、役割等を示した「教科コンパス」の明示
- ・他教科との関連を意識した年間指導計画(教科横断型カリキュラム)
- ・第一中学校との小中一貫教育

◎総合的な学習の時間の充実

- ・「ふるさと大町」のもの・こと・人などの魅力ある材の選定
- ・探究型、問題解決的な学習

◎基礎的な知識の定着につなげる主体的な家庭学習

- ・授業とつながる家庭学習
- ・家庭学習の手引きの活用

◎コミュニケーション能力の向上

- ・気持ちのよいあいさつ
- ・うれしい言葉の伝え合い

◎居心地のよいクラスづくり

- ・クラスみんながめあてをもって取り組む学級文化の創造
- ・隔月1回、各クラスで構成的グループエンカウンターやアドジャンを取り入れた授業
- ・楽しい学校生活を送るためのアンケートやQUの実施

◎異学年交流活動の充実

- ・姉妹学級交流
(なかよし集会、歌声集会、清掃、給食、読み聞かせ、児童会祭り、学級活動等)

◎継続による体力の向上

- ・学期に50周を目標にした「スマイルマラソン」への取り組み(冬期は、8の字なわとび)
- ・晴れた日は外遊び

◎年間を通じた多様な運動

- ・すこやかタイム
- ・春の運動会
- ・持久走記録会
- ・そり、スキー教室
- ・体力テストの結果の活用

◎健康的な生活習慣の確立

- ・元気しらべカードの活用
- ・さわやかチェックの活用

本校が大切にしている三つの学び方

- ・わからないということ
- ・友だちの声に耳をかたむけること
- ・なっとくするまであきらめないこと



<学校・地域・家庭が一体となって機能するコミュニティスクール>

- ☆学校運営協議会 年4回
- ☆各支援部と職員の打合せ会
- ☆コーディネーターと学年職員との懇談会

- ☆学校支援ボランティア
- 5つの支援部…学習支援 安全教育 環境整備
- 読み聞かせ 広報

学校教育目標 「やさかの心」

【経営の理念】

「一人一人が自分を好きと言える学校」
 めざす学校像 授業を根幹とする学校
 めざす教師像 教える教師から、学ばせる教師へ

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

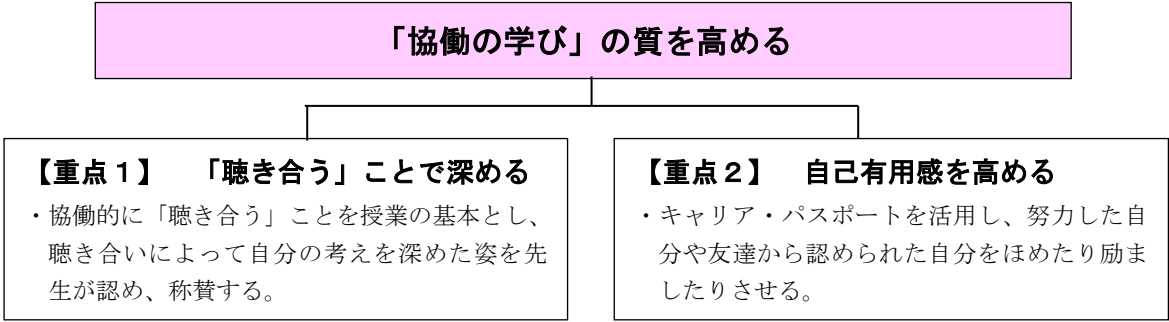
「教える教師から学ばせる教師へ」を合言葉とする学校づくりと、協働の学びを軸とした授業実践を通して、深く考える力を高め、自分が好きと言える子どもを育成する。

「学び合いの里 八坂」に存在する八坂コミュニティ・スクールとして位置づける
 ○山村留学発生の地であり、多様な価値感を共有し、温かく寄り添う八坂地区
 ○地域住民と保小中をつなぐ公民館等地域諸団体 ○高砂大学等、向学心強い生涯教育の地
 ○子どもと関わることで自分の人生を有意義にされている学習支援ボランティアの皆様 等

《 めざす子ども像 「やさかの心」の具現の姿 》

「や」⇒優しい心 (他者の声に耳を傾け聴く子ども)
 「さ」⇒探し求める心 (友と学び合い、深く考える子ども)
 「か」⇒かわいがる心 (自分を好きと言える子ども【自己有用感】)

《 教育課題 》



- 施設分離型小中一貫校を目指して
- 協働的な「学び合い」授業を根幹とした学校づくり→村瀬公胤先生のご指導を受ける
 - 「八坂プライド」を指針とする、9年間を通じた教科性に基づく深い学びの実現。
 - 教科一部担任制の実施
- 【兼務辞令】・美術と理科（小中相互乗り入れ） ・音楽（中学校職員が音楽専科として小学校を兼務）
- 【英語専科】・英語専科が毎週火曜日に在籍。English Dayとする。5年（2コマ）・6年（2コマ）
- 授業支援 家庭科（中学） 体育（小学校）
 - 部活動支援（吹奏楽部）
 - 児童会・生徒会の連携活動

教育目標
自立した学び手となる

【 経営の理念 】

対話する学校（「聴く」を基盤に）

めざす学校像：生徒をとりまく問題を授業で解決する学校

めざす教師像：生徒のことばや心の叫びに耳を傾け、共に歩む教師

《 学校づくりのねらい 》

「対話する学校」を合言葉とする学校づくりと、協働の学びを軸とした授業実践を通して、論理的思考力を高め、自立した学び手を育成する

（協働の学びとは、「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと）

＜ 協働の学びを軸とした授業における三つの学び方 ＞

わからないと言うこと 友だちの声に耳を傾けること 自分のわからなさを追究すること

めざす生徒像
（自立した学び手の姿）

- ・筋道立てて考え、気づいたことを正確に伝える生徒
- ・自分のよさを生かして自信をもって行動する生徒
- ・礼儀（あいさつ）と勤労（そうじ）を尊重する生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

単元の核心に基づく指導と評価

*重点1・学びづくり

3つの「思考のすべ」を教科横断的に活用し、対話を基盤とする深い学びを創造すること。

*重点2・集団づくり

生活上の諸問題や本質的な問いの解決に向けた対話活動を通して、生徒間に自他を尊重する人間関係を構築する。

《 教育システム 》

○自立した学び手が育つ学習システム

- *全国学力・学習状況調査やNINO、NRT等を分析・評価し、指導に生かす。
- *キャリア・パスポートの活用を進め、キャリア発達を促すカリキュラムづくりに努める。

○地域との協働システム（CS：コミュニティスクール）

- *学校運営協議会の協力を得て、学校、家庭、地域の総意で学校づくりを進めていく。

○職員の研修システム

- *ラーニング・コミュニティ（LC）により職員のキャリアアップを図る。研修内容は、授業クリニック、専門研修、マネジメント研修とする。

教育目標・自律した学習者になる

【教育理念】

「聴く学校」

めざす教師像：傾聴と愛語により生徒の学習意欲を高める教師

めざす学校像：授業づくりを根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、ともに学ぶ対話を基盤とした授業を通して、自己調整学習力を高め、自律した学習者を育成する

ともに学ぶ対話を基盤とした授業

問題を設定する → 問題について話す → ひとりで解決策を考える → 友と話す → 解決策を修正する
→ 修正した解決策を伝える → 振り返って今日の一番大切だと思うことを表す

めざす生徒像

- ・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒
- ・筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える生徒
- ・自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

対話の質を高めること

(重点1・学びづくり)

智慧を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある問題・課題により対話を活性化する

(重点2・関係づくり)

生徒一人ひとりのよさを認める教師の評価をモデルとして、生徒間に生産的な人間関係を構築する

《 教育システム 》

○自律した学習者が育つ学習システム

- ・自己調整学習力が高まる教科等横断的な教育課程を編成する。
- ・単元ごとに知識・技能の習得状況がわかる確認テストを実施するとともに、任意で再挑戦できるチャレンジテストの場を企画する。

○地域との協働システム (CS：コミュニティスクール)

- ・学校職員と運営協議会委員の合同研修を企画し、学校運営協議会制度に基づく学校づくりのあり方について理解を深める。

○職員の研修システム

- ・ミッション探索カードを活用する教頭との懇談を通して、職員が仁科台中学校における使命と課題を明らかにする。

学校教育目標・「やさかの心」

【経営の理念】

「利他の心をもつ学校」

めざす教師像 だれも置き去りにしない教師

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

「誰も置き去りにしない教師」を合言葉とする学校づくりと協働の学びを軸とした授業の実践を通して、他者と結びつく力を高め、自ら価値を創造していきける生徒を育成する。

利他の心＝生徒も教師も「人によかれ」という心をもち学校生活を送り、周囲の協力も得て視野を広げ、正しい判断力を身につけていく

《 教育課題と重点 》

めざす子ども像

「やさかの心」で深める子どもの具体の姿

「や」⇒柔らかい心（友の声を聴く心）

「さ」⇒さがし求める心（聴き合い考えぬく心）

「か」⇒かわいがる心 他者と関り自分のよさを感じる子ども（自己有用感）

「聴き合う力」を高める指導と評価

（重点１・聴く力と質問力の育成）

- ・少人数を生かしたペア学習・グループ学習
- ・一人ひとりの学習カルテをもち、教科横断的に活用し「聴き合い」から学ぶ授業

（重点２・小中連携での付ける力の明確化）

- ・自己有用感の高揚(キャリアパスポート)
- ・八坂型プライドの構築と協働の授業づくり
- ・付ける力の関連性、9ヶ年を見通した教育課程
- ・他者との関わりの質と表現力を高める小中の連携

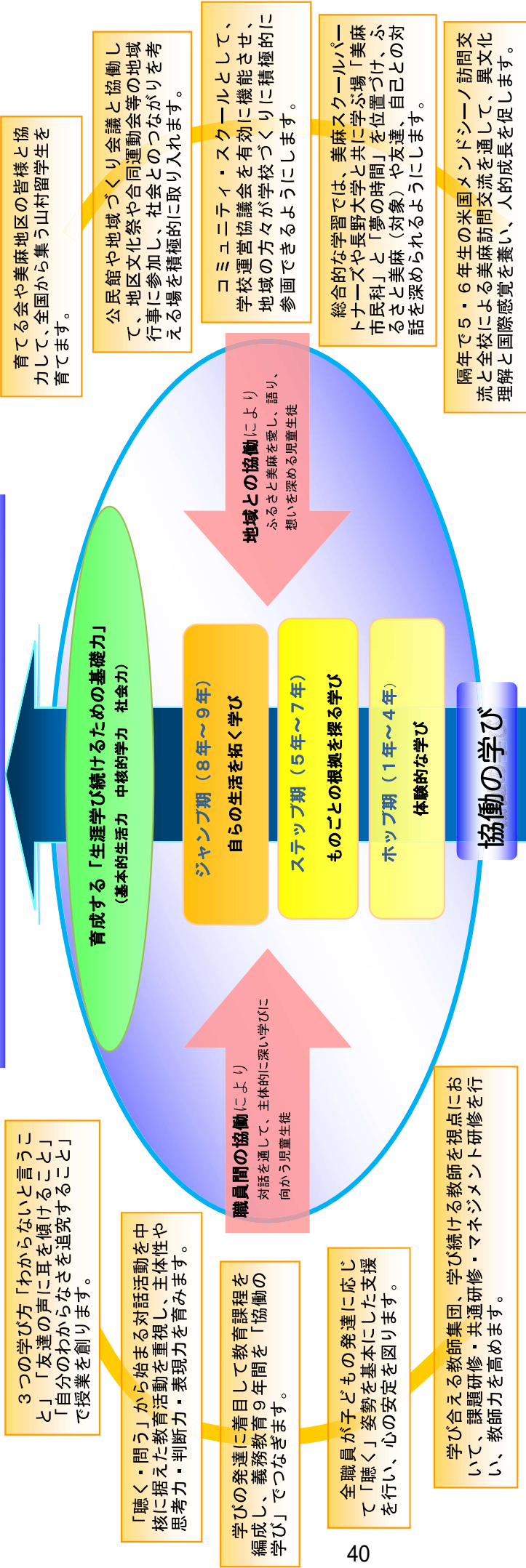
《 教育システム 》

- 八坂コミュニティ・スクールの運営
- 体験活動がより充実し身につくような、教科・行事等の関連性を持たせた取り組み
- キャリアパスポートの作成(小学校からの9年間を通して)
- 山村留学センターとの連携
- 山間地小規模校・特認校制度の活用
- インクルーシブ教育の充実
- 保護者および支援関係機関との連絡を密にした不登校不適応対策
- 教職員集団の資質の向上と変容（子どもと向き合う時間の確保に向けた働き方改革、研究・研修への参加、報告、実践への取り組み）新しい教育課程への対応とICTの活用
- 武蔵野五中との交流による、表現力の育成

令和2年度 美麻小中学校グラウンドデザイン



自律した学習者



3つの学び方「わからないと言うこと」「友達の声に耳を傾けること」「自分のわからないさを追究すること」で授業を創ります。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力・判断力・表現力を育みます。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子ども達の発達に応じて「聴く」姿勢を基本にした支援を行い、心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めめます。

職員間の協働により
対話を通して、主体的に深い学びに向かう児童生徒

地域との協働により
ふるさと美麻を愛し、語り、想いを深める児童生徒

育てる会や美麻地区の皆様と協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

公民館や地域づくり会議と協働して、地区文化祭や合同運動会等の地域行事に参加し、社会とのつながりを考える場を積極的に取り入れます。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々から学校づくりに積極的に参画できるようにします。

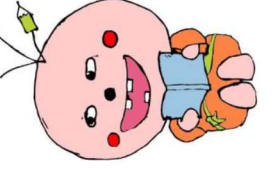
総合的な学習では、美麻スクールパートナーズや長野大学と共に学ぶ場「美麻市民科」と「夢の時間」を位置づけ、ふるさと美麻(対象)や友達、自己との対話を深められるようにします。

隔年で5・6年生の米国メンドシーノ訪問交流と全校による美麻訪問交流を通して、異文化理解と国際感覚を養い、人的成長を促します。

重点2 (体づくり)
元氣アップ運動を継続し、持続可能な体力向上と健康生活の習慣化を目指します。

重点1 (学びづくり)
魅力的な学習問題を据え、充実した振り返りを繰り返すことで、自分たちの学びに自信をもつことができる授業づくりを目指します。

重点3 (集団づくり)
自治活動や歌声づくりを基盤として、プロジェクトを越えて信頼し合う豊かな人間関係の構築を目指します。



令和2年度 教育課題 協働の学びの質を高める

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ美麻の子

教育理念 個の生き方や考え方を尊重する学校づくり

2 学校施設

(令和2年4月1日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地
	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	そ の 他 m ²	
大町東小学校	5,899	鉄筋 鉄骨 5,625 274	404	鉄筋 鉄骨 315 89	1,002	鉄筋 1,002	17,107	13,715	2,605	33,427
大町西小学校	7,360	鉄筋 鉄骨 6,963 397	409	鉄筋 鉄骨 308 101	1,218	鉄筋 1,218	21,626	13,169	1,138	35,933
大町南小学校	5,812	鉄筋 鉄骨 5,608 204	375	鉄筋 鉄骨 294 81	1,092	鉄筋 1,092	19,207	9,275	7,028	35,510
大町北小学校	6,609	鉄筋 鉄骨 6,415 194	347	鉄筋 鉄骨 270 77	1,051	鉄筋 鉄骨 982 69	17,158	11,750	3,439	32,347
八坂小学校	2,861	鉄筋 鉄骨 2,678 183	255	鉄筋 255	1,027	鉄筋 1,027	7,040	8,190	13,385	28,615
計	28,541	鉄筋 鉄骨 27,289 1,252	1,790	鉄筋 鉄骨 1,442 348	5,390	鉄筋 鉄骨 5,321 69	82,138	56,099	27,595	165,832
第一中学校	6,681	鉄筋 木造 6,375 306	304	鉄骨 304	2,123	鉄筋 2,123	14,508	12,455	3,552	30,515
仁科台中学校	6,983	鉄筋 鉄骨 6,695 288	420	鉄筋 鉄骨 350 70	2,511	鉄筋 2,511	16,926	17,331	—	34,257
八坂中学校	2,167	鉄筋 鉄骨 木造 2,136 22 9	216	鉄骨 216	1,198	鉄筋 1,198	6,781	9,388	—	16,169
計	15,831	鉄筋 鉄骨 木造 15,206 310 315	940	鉄筋 鉄骨 350 590	5,832	鉄筋 5,832	38,215	39,174	3,552	80,941
義務 学 校 教 育 美麻中学校	3,361	鉄筋 鉄骨 3,193 168	504	鉄筋 鉄骨 379 125	1,227	鉄骨 1,227	10,809	12,948	2,567	26,324

3 学校別児童生徒および学級数

(1) 小学校

(令和2年5月1日現在)

学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計		特別支援学級の児童数															
	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	男女	学級	計	学級	教員数	学年	1	2	3	4	5	6	計					
大町東小	10 (2)	1	9 (0)	1	14 (4)	1	12 (1)	1	18 (1)	2	18 (0)	1	18 (1)	2	36 (1)	30 (2)	18 (0)	知的障害	2	1	3	1	2		155 (12)	7	9	8	3	
大町西小	14 (0)		22 (0)		22 (0)		27 (1)		10 (0)	1	20 (2)	2	20 (0)	1	26 (1)	41 (7)	20 (2)	情緒障害	5	3	2	2	1	5	21	(4)	24	16	18	
大町南小	16 (0)	2	16 (0)	2	23 (3)	2	26 (3)	2	22 (1)	2	22 (3)	2	38 (1)	2	38 (1)	41 (5)	19 (2)	知的障害	1	1	2	1	2	1	235 (20)	12	13	11	6	
大町北小	17 (1)	1	17 (0)	2	20 (4)	2	19 (4)	2	25 (3)	2	24 (4)	2	50 (5)	2	50 (5)	53 (4)	24 (4)	情緒障害	1	4	5	4	4	3	250 (24)	11	23	14	14	
八坂小	4 (0)		4 (0)		3 (0)		2 (0)		1 (0)	1	1 (0)	1	3 (0)		3 (0)	7 (2)	1 (1)	知的障害							35	6	8	7	0	
美麻前期	4 (1)	1	3 (0)	1	9 (0)	1	1 (0)	1	6 (2)	1	7 (1)	1	12 (4)	1	12 (4)	11 (1)	7 (4)	知的障害	1				1	1	50	6	16	13	2	
合計	65 (10)	7	80 (11)	9	92 (13)	9	77 (9)	9	88 (8)	9	93 (65)	9	165 (12)	9	165 (12)	183 (21)	495 (65)	計	10	11	17	14	12	21	952 (85)	52	70	59	85	
	63 (0)		71 (3)		78 (4)		78 (5)		77 (4)		90 (7)		77 (12)		77 (12)	21 (7)	457 (20)										111	70		

(2) 中学校

学校名	1学年			2学年			3学年			計			特別支援学級の生徒数			計
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	学年	教員数	計	
	男	女		男	女		男	女		男	女		知的障害	情緒障害		
第一中	29	59	2	41	80	3	32	74	3	102	213	8	19	1	2	11
	30	(4)		39	(8)		42	(1)		111	(13)	(3)	16	4	7	
仁科台中	60	111	4	57	94		44	102	3	161	307	10	23	4	3	9
	51	(12)		37	(7)		58	(6)		146	(25)	(4)	19	8	4	8
八坂中	4	10		4	8		3	5		11	23	3	9			0
	6	(1)	1	4	(0)	1	2	(1)	1	12	(2)	(1)	8	1		2
美麻後期	8	14		4	8		4	11	1	16	33	3		1	2	4
	6	(1)	1	4	(3)	1	7	(4)		17	(8)	(2)			1	4
合計	101	194	8	106	190	8	83	192	8	290	576	24	51	18	18	48
	93	(18)		84	(18)		109	(12)		286	(48)	(10)	43	計	12	
													35			
													20			

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を外数で表す
 ※ 美麻小中学校の教職員数は、前期課程に全員を計上する

4 小中学校教職員数

(令和2年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合		計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教授	講師	事務職員	栄養職員	計		教員	事務職員	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	A	計		男	女	計			
										男	女								男	女						
大町東小学校	1		1	10	1		2	1				2	1	1	3	1	1			1	7	8	15	24		
大町西小学校	1		1	17	1	1	6	1	1			2	1		4	1				1	7	8	13	24		
大町南小学校	1		1	18	1		4	1				3	1	1	4	1				2	8	10	13	23		
大町北小学校	1		1	17	1		2	2	1			3	1	1	4	1				2	7	9	11	23		
八坂小学校	1		1	7	1		3	1	1			1				1				1	1	2	8	9		
計	5	0	5	69	5	1	17	6	3			11	0	4	2	15	5	0		7	30	37	54	148		
第一中学校	1		1	18	1		3	1				3		1	4	1	1	1		5	6	11	21	15		
仁科台中学校	1		1	20	1		4	1				4		1	5	1	1	1		4	9	13	24	17		
八坂中学校	1		1	8	1		1	1									1	1		2	0	2	10	5		
計	3	0	3	46	3	0	8	3	0			7	0	2	2	9	3	3		11	15	26	55	37		
美麻小中学校	1	1		17	1		4	1				1		1	3	1	1	1		2	6	8	16	17		
合計	9	1	8	132	9	1	29	10	3			19	0	7	5	27	9	4		20	51	71	125	148		
												(19)		(7)	(3)	(24)	(9)	(2)		(15)	(49)	(64)		273		

※ () は会計年度任用職員を内数で表す

※育児休業代替者を含む

※兼務職員は本務校に計上

※A.L.Tのうち2名は派遣

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
カマゼルト ショーン エベン KAMMERZELT SHAWN EVAN	アメリカ合衆国	平成29年4月1日～令和3年3月31日 (派遣)
アカハネ タミー レベッカ AKAHANE TAMMY REBECCA	オーストラリア	平成29年8月1日～令和3年3月31日 (市雇用会計年度任用職員)
グレンニー ケビン GLENNIE KEVIN	イギリス	平成30年4月1日～令和3年3月31日 (派遣)
リム フィ ミン LIM HUI MIN	シンガポール共和国	平成30年8月6日～令和3年8月5日 (JETプログラム)

6 通学区

(1) 小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町
八坂小学校	八坂の全区域
美麻小学校	美麻の全区域

(2) 中学校

学 校 名	通 学 区 域
第一中学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大黒町、相生町、九日町、六九町、白塩町、山田町、北山田町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、幸町、宮田町、若原町、和町
仁科台中学校	常盤および社の全区域ならびに大町のうち上仲町、下仲町、名店街、八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、高見町、南原町、堀六日町、東町、下白塩町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、大新田町、高根町、昭電アパート
八坂中学校	八坂の全区域
美麻中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小学校、八坂中学校及び美麻小中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

☆令和元年度実績

	八坂小・八坂中			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小1			0	1		1
小2			0	1		1
小3			0			0
小4			0	2	2	4
小5		1	1	5	1	6
小6			0		1	1
中1（7年）			0	2	1	3
中2（8年）	1		1	2	2	4
中3（9年）	1		1		2	2
合計	2	1	3	13	9	22

8 山村留学生受け入れ状況

☆令和元年度実績

	八坂小・八坂中			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小3	1		1			0
小4		2	2			0
小5	2	3	5			0
小6	2	3	5	3	1	4
中1（7年）	3	1	4		2	2
中2（8年）	1	1	2	2		2
中3（9年）	1		1	2		2
合計	10	10	20	7	3	10

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(令和元年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費・通学用品費	114人	1,437,141円	80人	1,916,649円
体育実技用具費	0	0	0	0
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	94	127,598	8	18,155
校外活動費(宿泊を伴うもの)	15	32,386	29	167,086
新入学児童生徒学用品費等	47	2,115,000	27	554,400
修学旅行費	21	672,517	26	1,520,262
医療費	0	0	0	0
学校給食費	114	5,198,842	81	4,107,593
計	128	9,583,484	81	8,284,145

※平成29年度から新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施している。数値には、新入学児童生徒分を含む。

(2) 特別支援教育就学奨励費

(令和元年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費	67	385,920円	26人	275,746円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	11	12,625	11	28,897
新入学児童生徒学用品費等	8	177,150	8	213,383
修学旅行費	19	202,920	6	167,480
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	54	32,131	2	2,290
体育実技用具費	0	0	0	0
学校給食費	67	1,641,780	24	620,207
計	67	2,452,526	26	1,308,003

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(令和元年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	24	7,407,477
北小スクールバス	34	9,254,905
北小・第一中スクールバス	55	10,756,746
仁科台中スクールバス	11	7,100,870
八坂小中スクールバス	16	4,759,029
美麻小中スクールバス	85	16,641,298
計		55,920,325

遠距離通学扶助の状況

(令和元年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	387,898
中学校遠距離通学扶助費	2,929,732
計	3,317,630

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

年 度	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 24	169人	149人	318人	168人	149人	317人	99.7%	1人	0人	1人	0.3%	0人	0人	0人	0.0%
25	155	123	278	154	123	277	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4
26	165	144	309	164	140	304	98.4	0	0	0	0.0	1	4	5	1.6
27	127	118	245	126	118	244	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4
28	122	140	262	122	140	262	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
29	118	133	251	115	133	248	98.8	2	0	2	0.8	1	0	1	0.4
30	118	134	252	118	133	251	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4
令和 元	115	146	224	115	108	223	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む
(令和2年3月卒業)

(2) 学校別状況

	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
第一中学校	46人	41人	87人	46人	41人	87人	100.0%	0人	0人	0人	0.0%	0人	0人	0人	0.0%
仁科台中学校	61	56	117	61	55	116	99.1	0	0	0	0.0	0	1	1	0.9
八坂中学校	5	41	9	5	4	9	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
美麻中学校	3	8	11	3	8	11	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
計	115	146	224	115	108	223	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学の様況 (令和2年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		全日制	定時制	全日制	定時制			市内	郡内	県内	県外
第一中学校	87	74	1	8	0	1	3	36	14	35	2
仁科台中学校	116	86	3	18	0	1	8	37	8	68	3
八坂中学校	9	5	0	1	0	0	3	3	1	2	3
美麻中学校	11	8	0	3	0	0	0	1	1	6	3
合計	223	173	4	30	0	2	14	77	24	111	11

(4) 就職の様況 (令和2年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別			
		市内	郡内	県内	県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業
第一中学校	0	0	0	0	0	0	0	
仁科台中学校	0	0	0	0	0	0	0	
八坂中学校	0	0	0	0	0	0	0	
美麻中学校	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の種類

ア 対象者

(ア) 一般奨学金（貸与型）

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 成績が優秀であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと

(イ) 特別奨学金（給付・償還免除型）

大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。なお、出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する場合は、償還を免除（給付）する。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 前年度の学業成績証明書において5段階評価で、平均4.0以上であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が特に困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に償還を要しない学資等の給付を受けていないこと
- ⑥ 出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する予定であること

イ 貸付金額

高校生	月額	15,000円以内
大学生	月額	30,000円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。ただし、特別奨学金については、要件を満たしている場合、返還を要しない。

(2) 貸付数

(人)

年度 対象区分	平成 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高校生	4	3	6	5	4	1	0	1	3	3
大学生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

(人)

年度 対象区分	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2
高校生	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学生(貸付)	2	2	1	1	2	2	1	2	1	2
大学生(給付)	—	—	—	—	—	—	0	2	2	2
計	4	2	1	1	2	2	1	4	3	4

1 2 私学振興

(1) 私学に対する父母負担の軽減

(令和元年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1 人	9,000 円	—	—	学園に補助
私立高校在籍者	1 人	22,000 円	105 人	2,310,000 円	保護者に補助

1 3 教員住宅

(令和 2 年 5 月 1 日現在)

住 宅 名	所 在 地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸 町 教 員 住 宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
館 の 内 教 員 住 宅	大町市社5610-2	47	43.6	6	8,000
俵 町 教 員 住 宅	大町市大町5722-5	60	80.7	2	21,000
		62	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜 田 町 教 員 住 宅	大町市大町3841-1	63	80.7	1	23,000
旭 町 教 員 ア パ ー ト (借 上)	大町市大町2952-2ほか	平成13年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大 平 教 員 住 宅	大町市八坂1008-イ3	53	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	56	66.0	1	4,000
明 野 教 員 住 宅	大町市八坂701-1	平成7年	50.0	4	20,000
長 平 教 員 住 宅	大町市美麻11291-1	50	67.0	1	4,200
		49	58.0	1	5,300
北 原 教 員 住 宅	大町市美麻11566ほか	50	58.0	2	4,200
	大町市美麻11568	54	45.4	2	3,200
前 田 教 員 住 宅	大町市美麻11727-1	55	45.4	2	3,200

14 コミュニティ・スクール

(1) コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。学校運営協議会の主な役割として、

- ・「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」
- ・「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」
- ・「教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について意見が述べられる」

の三つがあります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていこうとする意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある学校づくり」を進めることができます。

○学校運営協議会を設置している学校

- ・大町市立八坂小学校・中学校
- ・大町市立美麻小中学校

信州型コミュニティスクールについて

長野県教育委員会が独自に行っている「学校と地域の連携・協力を推進する事業」で、学校運営に保護者や地域住民が参画・評価を行う国の「コミュニティ・スクール」と、地域ぐるみで支える国の「学校支援地域本部事業」を組み合わせた機能を持つ仕組みです。

子どもの教育や学校運営について話し合う学校運営委員会を設置し、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てることを推進します。また、地域と共にある学校として、地域住民の皆さんに日常的に学校に来ていただき、子どもたちを見守り、支援していただきながら、学校と地域の協働を推進します。

なお、令和2年度より市内全ての小中学校が学校運営協議会制度に移行します。これによって、「地域とともにある学校づくり」を継続的、持続的に推進していきます。

○学校運営委員会を設置している学校

- ・大町市立大町東小学校
- ・大町市立大町西小学校
- ・大町市立大町南小学校
- ・大町市立大町北小学校
- ・大町市立第一中学校
- ・大町市立仁科台中学校

(2) 学校と地域が連携・協働して行う活動

全ての学校では、学校支援ボランティア代表者会を設置し、地域の方や保護者の方が子どもたちの学びを支える仕組みを構築しています。各学校に配置されている学校支援コーディネーターが、学校と地域をつなぐコーディネーターとして、学校への様々な協力活動への取り組みを展開しています。その他にも、郷土学習や職場体験学習を連携して取り組み、学校と地域が一体となって子どもたちの学びと体験の充実を図っています。

地域・保護者の方による学校への協力活動の様子



習字指導



花壇定植



落ち葉拾い



登下校の見守り

1 5 教育支援委員会

教育支援委員会は、大町市教育委員会の諮問に応じて、次の事項について調査審議する機関です。

- (1) 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由による児童生徒の就学義務猶予又は免除等の判断に関する事。
- (2) 知的障がいその他心身に障がいのある者で、障がいの状況に応じたふさわしい教育を行うことが適当であると認められる者の判断に関する事。
- (3) その他、適切な教育支援に関し、教育委員会が必要と認める事項の事。

☆相談件数 (令和元年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	43	10	0	30	3	0	0
来 入 児	32	20	(1)	10	2	0	0
計	75	30	(1)	40	5	0	0

1 6 特別支援教育

(1) 市内小中学校における特別支援学級の児童生徒数の状況 (R元. 9. 1現在)

学校名	児童生徒数			学級数		
	総数	知障	自・情障	総数	知障	自・情障
大町東小学校	179	5	11	10	1	2
大町西小学校	255	2	18	14	1	3
大町南小学校	274	6	18	15	1	3
大町北小学校	297	4	20	15	1	3
八坂小学校	57	0	2	7	0	1
美麻小中学校(前期)	45	2	5	8	1	1
小学校計	1107	19	74	69	5	13
第一中学校	251	2	7	11	1	1
仁科台中学校	325	7	14	14	1	2
八坂中学校	23	0	2	4	0	1
美麻小中学校(後期)	36	3	4	5	1	1
中学校計	635	12	27	34	3	5

(2) 市内から特別支援学校へ通っている児童生徒数の状況 (H30. 5. 1現在)

学校名	小学部	中学部	高等部本校	高等部分室等	合計
安曇養護学校	6	11	9		26
松本盲学校				1	1
花田養護学校					0
松本ろう学校			1		1
合計	6	11	10	1	28

(3) 市内小中学校児童生徒の発達障がいに係る状況 (R元. 9.1現在)

区 分	小学校	中学校	全体
発達障害診断を受けた児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	113名 (9.8%)	49名 (7.2%)	162名 (8.8%)
障害判定は受けていないが特別な支援が必要と思 われる児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	136名 (11.8%)	13名 (1.9%)	149名 (8.1%)
合計 (全児童生徒に対する割合)	249名 (21.7%)	62名 (9.1%)	311名 (17.0%)

(4) 障がい区分別児童生徒数の状況 (R元. 9.1現在)

【小学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学習障がい(LD)	通常学級				2			2
	特支学級					1	2	3
	合計	0	0	0	2	1	2	5
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	1				2	3	6
	特支学級	1	1	1	2	2	5	12
	合計	2	1	1	2	4	8	18
自閉症スペクトラム障 がい(ASD)※広汎性発達障 害(PDD)、高機能自閉症 (HFPDD)アスペルガー症候 群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	1		1	4	4	2	12
	特支学級	6	8	7	4	9	9	43
	合計	7	8	8	8	13	11	55
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、 複数の診断・判定	通常学級	1	1	4	2	1	1	10
	特支学級	3	2		3	2	3	13
	合計	4	3	4	5	3	4	23
障がい判定は受けていないが特別な 支援が必要と思われる児童数		14	19	11	11	12	13	80

【中学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	合計
学習障がい(LD)	通常学級				0
	特支学級	1	1		2
	合計	1	1	0	2
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	5	3	3	11
	特支学級	1	1		2
	合計	6	4	3	13
自閉症スペクトラム障 がい(ASD)※広汎性発達障 害(PDD)、高機能自閉症 (HFPDD)アスペルガー症候 群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	2	4	4	10
	特支学級	6	3	4	13
	合計	8	7	8	23
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、 複数の診断・判定	通常学級			1	1
	特支学級	4	3	1	8
	合計	4	3	2	9
障がい判定は受けていないが特別な 支援が必要と思われる生徒数		13	7	7	27

17 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小学校及び中学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援している。また、市独自に教育委員会内にキャリアサポーターを配置して、中学校や高校を卒業したものの進学や就労をせずに家に引きこもったり、ニート状態にある若者への支援（就職や進学への支援等）に直接あたっている。

(1) 活動の重点

ア 小学生の職場見学及び中学生と高校生との職場体験学習の充実

- 中学校職場体験学習期日の調整
- 受入事業所の開拓（小学校での職場見学を含）
- 学校での事前・事後指導の充実（講師派遣を含）

イ 保護者、地域、事業所等へのキャリア教育の啓発

- 広報紙、ケーブルテレビ、地域文化祭等で職場体験学習の発表機会を提供

ウ キャリアサポーターによる若者支援の充実

- 高校生徒指導担当者との情報交換の実施
- 市内教頭会で卒業生の動向や不登校等の児童生徒の状況等の情報交換
- 就労や進学支援のために、該当する各種機関と随時連携して取り組む
- 不登校の児童生徒やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 令和元年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回）
- 市内中学校・高等学校キャリア教育担当者会議（年2回）
- 各学校で行われるキャリア教育講演会（進路講話等）、職場体験学習マナー研修の講師紹介
- 令和元年度職場体験学習受け入れ事業所一覧表の作成と各学校への紹介
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（一学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、創造学園
 - ・大町岳陽高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学・高校生の職場体験学習への支援
 - ・第一中学校 2年生76名（7月17日～18日、9月6日農業体験）
 - ・八坂中学校 1・2・3年24名（6月6日～7日）
 - ・仁科台中学校 2年生107名（10月15日～16日）
 - ・美麻小中学校 7・8年24名（8月29日～30日）

- 平成30年度大町市キャリア教育推進協議会開催
 - ・職場体験学習での実践発表・・・仁科台中学校生徒4名、美麻中学校生徒3名
 - ・市内中・高生による職場体験学習実施状況と課題
 - ・キャリアサポーターによる若者支援の状況と課題
 - ・平成30年度キャリア教育推進計画について
- キャリア教育研修会
 - ・市内教職員を対象に実施（参加者14名）
 - ・実施日 令和2年1月31日（金）
 - ・講師 山岸 澄雄 校長（美麻小中学校）、興 幸雄 校長（仁科台中学校）
「自己有用感を高めるキャリア・パスポートの活用」

18 中間教室

中間教室（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

（1）アルプスの家

- 設置場所 大町市大町4710番地
- 電話番号 0261-23-6418
- 開所時間 月曜日～金曜日 9時から15時30分
- 令和元年度利用者数（実人数）

	男	女	計
小学校	2人	2人	4人
中学校	1人	1人	2人
合計	3人	3人	6人

19 不登校・いじめの状況

(1) 不登校児童生徒の状況

【小学校】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成26年度	1		1	1	5	2	10
平成27年度		1		1	2	6	10
平成28年度	1		1	2	1	2	7
平成29年度	2			4	4	2	12
平成30年度	1	1	2	1	3	6	14
令和元年度	0	1	3	5	3	4	16

【中学校】

年度	中1	中2	中3	合計
平成26年度	3	4	7	14
平成27年度	8	4	7	19
平成28年度	14	11	4	29
平成29年度	12	20	12	44
平成30年度	4	11	16	31
令和元年度	3	9	9	21

(2) いじめの認知件数

【小学校】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成28年度	4	9	10	10	8	12	53
平成29年度	4	10	17	12	13	12	68
平成30年度	41	26	13	31	20	15	146
令和元年度	32	20	23	10	19	21	125

【中学校】

年度	中1	中2	中3	合計
平成28年度	12	5		17
平成29年度	17	8	3	28
平成30年度	8	8	2	18
令和元年度	10	11	6	27

20 いじめ防止対策

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の天津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大町市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、教育委員会、学校、家庭、地域それぞれの取り組みについて明らかにした「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に向け積極的に取り組んでいる。

(1) 教育委員会におけるいじめ防止の取組

教育委員会では、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、設置する学校でいじめ防止等の対策が適切に実施されるよう、その支援に取り組む。

ア いじめ防止等に関わる組織の設置

いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携を図るため、校長会、PTA連合会、児童相談所、地方法務局、警察署、人権擁護委員会等の代表で構成する「大町市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ防止等に向けた取組を推進する。

イ いじめ相談ホットラインの設置

市教育委員会内にいじめ相談のための専用電話（教育相談専用電話）を設置して、いじめで悩んでいる子どもたちや保護者への相談にあたる。

ウ 関係機関との連携及び啓発活動の推進

- ・いじめ防止等に向けて学校、家庭、地域や関係機関等との連携を図る。
- ・教育相談やいじめへの対処に関し助言を行うために、学校からの求めに応じて、県教育委員会と連携し、心理や福祉等に関する専門的知識を有する者を派遣する。
- ・いじめ防止等に関わる研修会等を企画実施する。
- ・学校や社会教育団体等が実施するいじめ防止等のための活動を積極的に支援する。
- ・いじめ防止等の重要性及びいじめに関する相談窓口等について広報や啓発を行う。
- ・インターネット等を通じて行われるいじめについては、県教育委員会のネットパトロールによる監視の取組を活用し、適切に対処する。

エ 学校に対する支援

- ・学校からいじめの報告を受けた場合、市教育委員会は学校に対して必要な支援と指導助言を行う。
- ・学校におけるいじめ防止等の取組の点検と充実を支援する。

(2) 学校におけるいじめ防止の取組

学校では、県及び市の方針を受け、校長のリーダーシップのもとに全職員が一丸となっていじめ防止等に取り組む。

ア 基本方針の策定と環境づくり

- ・学校は、県及び市の基本方針に基づき、その学校の実情に応じた「学校いじめ防止基本方針（いじめ防止対策マニュアルを含む）」を策定し、児童生徒や保護者、地域等に周知し連携しながらいじめ防止等に取り組む。
- ・学校は、全ての児童生徒にとって安心・安全で、楽しく充実していると実感できる「心の居場所」となるよう、家庭や地域等と連携し、全校をあげていじめの防止等に取り組む。
- ・全ての教育活動を通じて、道徳教育や人権教育等の充実を図り「心の教育」と「いのちの教育」を推進する。
- ・学級や学年、児童会や生徒会の活動など、いじめを生まない学校とするための児童生徒自らによる主体的な取組を積極的に支援する。

イ いじめ防止及びいじめへの組織的な対処

- ・全ての教職員が法における「いじめの定義」を再確認し、積極的な認知に努める。
- ・学校は、いじめ防止等に関する措置を実効的に行うため「いじめ防止等対策委員会」を設置する。
- ・いじめを認知したときは、学級担任等特定の教員が抱え込むことなく、校長のリーダーシップのもと、職員間の緊密な情報交換や共通理解を図って全校体制で組織的に対応し、解決するまで継続的に取り組む。
- ・学校においていじめを把握した場合には、速やかに教育委員会に報告するとともに、保護者にも知らせ、必要に応じ主任児童委員、民生児童委員、子ども会育成会、自治会等関係機関と連携を図って対処する。

ウ 児童生徒理解と早期発見・早期対応

- ・日常的な行動観察に加え、定期的なアンケート調査等を実施し、全校的な指導体制でいじめの早期発見・早期対応に努める。
- ・全員の面接実施やスクールカウンセラー等の活用など、教育相談体制を充実する。
- ・いじめにつながるインターネット上での誹謗中傷や不適切な書き込み等を行わないよう、児童生徒への情報モラル教育を充実するとともに、保護者への情報提供と家庭での指導の徹底を求める。

(3) 家庭におけるいじめ防止の取組

家庭では、誰もが「いじめる側」にも「いじめられる側」にもなる可能性があることを理解し、寄り添い支えながらいじめの問題に取り組む。

ア 保護者の責務

- ・保護者は、子どもの教育の第一義的責任を有することを自覚し、子どもがいじめを行うことのないよう規範意識を養うとともに、その他必要な指導を行う。

イ いじめの理解と対処

- ・保護者は市や学校が講ずるいじめ防止等の対策に協力する。
- ・インターネットを通じたいじめの現状について知り、家庭におけるネットモラルの指導とルールづくりを行い、子どもがいじめの加害者や被害者にならないようにする。

- ・いじめが疑われたときは、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関等に相談し連携して対応する。

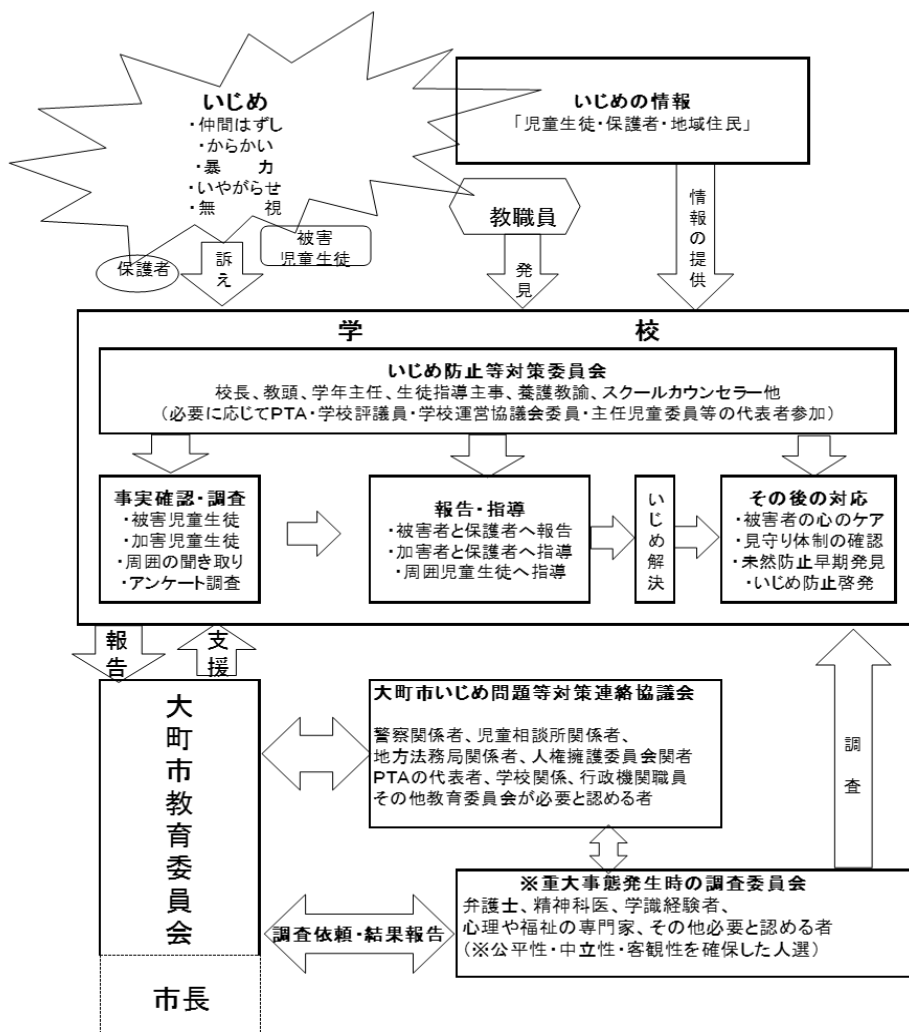
(4) 地域における取組

地域では大勢の大人が子どもたちと関わることによっていじめを生まない地域ぐるみのつながりづくりに取り組む。

- ・いじめは地域においても行われることがあるところから、登下校時等において、地域として子どもたちを温かく見守り、積極的な声かけを行う。
- ・地域の行事や文化活動、スポーツ活動等においても規範意識や思いやりの心、さらには社会性を育みながらいじめ等の防止に努める。
- ・学校や保護者、地域諸団体と連携し、いじめのない社会の実現に努める。
- ・いじめを発見したら、その場で「いじめは許されない行為であること」を指導し、保護者や学校に知らせ、連携して対処する。

いじめへの対応(フローチャート)

大町市教育委員会



2 1 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響をおよぼしてきている。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっている。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、共同して展開している。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいる。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン（サンプラン）をキャッチフレーズに取り組みを進めている。】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校において、全児童・生徒に配布している。

2 2 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS（地理情報システム）を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東 小 学 校	37	22	9	4	72
西 小 学 校	52	7	8	4	71
南 小 学 校	19	38	6	2	65
北 小 学 校	52	31	9	8	100
美麻小・中学校	4	2	6	1	13
第一中学校	13	7	9	2	31
仁科台中学校	10	1	1	0	12
八坂小・中学校	8	17	4	12	41
計	202	122	49	32	405

(3) 緊急合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

○対策状況（令和2年4月1日現在）

学校名	危険箇所総数	対策済み箇所数	一部対策済及び対策予定箇所数	対策未定箇所
東小学校	22	12	8	2
西小学校	21	9	12	0
南小学校	17	8	7	2
北小学校	31	17	12	2
八坂小学校	8	1	3	4
美麻小学校	5	1	4	0
総数	104	48	46	10

※対策予定箇所には、複数年にわたって計画的に整備するものも含む。

（４）大町市通学路交通安全プログラムの策定（H27.3策定）

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町警察署、長野工業高等専門学校、大町市PTA連合会、大町西小学校学校運営協議会、大町市校長会及び庁内関係部署（学校教育課、市民課、建設課、子育て支援課、消防防災課）から選出された13名で構成。
- 今後の取組み
小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実を図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



2 3 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面の間、市立学校では「自校直営方式」（平成18年市村合併による八坂共同調理場を除く。）とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、県のマニュアルに準拠し、アレルギー食（代替食・除去食）での対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。
- 安心で安全な学校給食を提供することを第一に、福島原子力発電所事故に伴い汚染等が心配させる地域からの食材について放射能物質検査を実施し、安全性を確認した食材を提供する。

(3) 学校給食の実施状況

令和2年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (教職員分を除く)	一食当たり 給食費	市から学校給食への 地産地消分負担(年間)
大町東小学校	166食	275円	1,860円/人
大町西小学校	247食	275円	1,860円/人
大町南小学校	254食	275円	1,860円/人
大町北小学校	274食	275円	1,860円/人
八坂小学校 (共同調理場)	36食	275円	1,860円/人
美麻小中学校	前期 55食	前期 275円	1,860円/人
	後期 41食	後期 305円	1,860円/人
第一中学校	221食	305円	1,860円/人
仁科台中学校	322食	305円	1,860円/人
八坂中学校 (共同調理場)	24食	305円	1,860円/人

※平成31年4月から学校給食費を公費化。市教育委員会事務局で徴収管理。

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

生涯学習基本方針

生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習とされています。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしているといえます。

学習を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、学習の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な学びを通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、自主的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、平成26年度から平成33年度を計画期間とする生涯学習推進プランの3つの基本方針を掲げ、全市的に取り組んでいます。

- 生涯学習の基盤づくり
- 地域全体で取り組む子育て支援
- 協働を基本とした地域コミュニティの再生

社会教育基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

一般的には学校教育を除いた包括的な教育概念として理解されており、人々の生活の向上や職業能力の獲得と開発、個人の学習要求の実現や能力開発、さらに地域社会の形成や発展に貢献することなどを目的として実施される教育活動を言います。

社会教育は、学校教育にとらわれない幅広い内容を持っており、学習活動の内容は様々で、学校教育を補充・補完し、発展・拡張する内容を持っていることから、家庭教育を含めて生涯学習社会実現の中核を担うものです。

近年の社会環境は、高度情報化・少子高齢化による社会構造の変化や家庭生活の変化、価値観の多様化、貧困や格差の顕在化、そして震災や豪雨などの自然災害、原発問題など急激な変化を遂げています。このような時代背景の中で、市民の学習要求の多様化・高度化や、様々な地域課題の解決に対応するために、社会教育の果たすべき役割は極めて大きいといえます。新しい時代の生活に即した知識や技術、教養を高め、心の豊かさや生きる力を育むためにも、学校や地域、民間の諸活動、市長部局などとの幅広い連携の下、学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動のための、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められています。

希薄化傾向にある地域社会のつながりを取り戻し、個人の学びが地域に循環・還元することにより、活力あるまちづくりの推進を目指すため、社会教育計画を基本として、次の3つの柱を重点に社会教育の推進を図ります。

- 生涯各期における学習活動の充実
- 多様な分野の学習活動の充実と促進
- 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築

1 生涯学習・社会教育

高度情報化や少子高齢化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化、そして自然災害等で急激な変化を遂げている社会環境において、生涯学習社会の実現とともに、地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっています。

学習ニーズを的確に把握し、自主的かつ快適な活動推進の積極的支援とともに、人と人との学び合いを通じた地域課題解消に向けての取り組みに努めます。また、青少年の健全育成を目指して、学校・家庭・地域・行政などの多様な活動体の相互の協働と連携による社会教育の推進を図ります。

(1) 重点目標

ア 地方創生総合戦略に関する事業

- (ア) 地域の人材を活用した多様な学習支援
- (イ) 郷土学習の推進

イ 生涯各期における学習活動の充実

- (ア) 青少年の非行防止・健全育成

ウ 多様な分野の学習活動充実と促進

- (ア) 芸術文化の振興
- (イ) 自然や環境に関する学習の促進
- (ウ) 科学の振興

エ 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築

- (ア) コミュニティスクールなど地域とともにある学校づくりの推進
- (イ) 生涯学習ボランティア活動などの促進
- (ウ) 情報提供・相談事業の充実
- (エ) 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実
- (オ) 学習成果の評価と活用
- (カ) 市民の自主的・主体的活動支援の推進

(2) 主な事業

ア 青少年の非行防止・健全育成

下記「2 青少年」に記載

イ 芸術文化の振興

- (ア) 雪形まつりの開催
- (イ) 企画展の実施
- (ウ) 美術館めぐりの開催
- (エ) 美術振興専門委員会の開催
- (オ) 美術作品等収蔵品目録の整備
- (カ) ギャラリー・いーずらの一般利用貸出しの促進

ウ 科学の振興

- (ア) 大町市科学振興会による科学の振興と普及啓発
- (イ) エネルギー博物館の運営支援

エ 生涯学習ボランティア活動などの促進

- (ア) リーダーバンク制度の充実
- (イ) 職員出張講座の充実
- (ウ) サークル等団体の活動の奨励及び援助

オ 情報提供・相談事業の充実

- (ア) 「がったつうしん」の発行

カ 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実

- (ア) 社会教育委員会議の開催
- (イ) 生涯学習のまちづくり推進本部の開催
- (ウ) コミュニティ振興対策事業補助金の交付

(3) 主要な施策の実施状況【平成31・令和元年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
成人式の開催	8月15日開催、参加者250人
北アルプス雪形まつり開催	6月6日開催、参加者360人
ギャラリー・いーずらの企画展運営	開館日数106日、入館者数1,520人
大町公民館分室の運営・管理	開館日数289日、利用者数19,208人
蔵の音楽館の運営・管理	開館日数289日、利用者数665人
エネルギー博物館運営補助	入館者数7,401人
公民館分館整備助成	2件
子どもセンター事業「がったつうしん」発行	4回+夏休み特別号1回
低学年向け郷土学習冊子作成	1,000冊作成

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図ります。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「健全な明るい家庭づくり」「たくましい青少年づくり」「心のふれあう地域づくり」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進します。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターによる相談業務、補導活動、あいさつ運動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの育成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろいのある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進めます。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) ジュニア・シニアリーダー研修会の開催
- (ウ) 青少年リーダーの育成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 高等学校への学校訪問の実施
- (ク) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の実施
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

(3) 主要な施策の実施状況【平成31・令和元年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
補導委員街頭補導活動	活動回数 63 回、延べ参加人数 237 人
青少年育成市民大会の開催	8 月 24 日開催、参加人数 166 人
ジュニア・シニアリーダー研修事業	7 回
子ども体験学習号運行業務	運行回数 13 回、利用者数 441 人

3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫であり、この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務です。このため、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図ります。

(1) 重点目標

ア 文化財の保存

- ・文化財の保存修理及び環境整備の推進
- ・文化財保護補助事業の促進

イ 文化財保護意識の高揚・活用

- ・文化財の見学会や講演会の実施
- ・文化財・自然等の学習活動支援題材提供
- ・文化財センター・民俗資料館・旧中村家住宅を活用した文化財保護意識の啓発。

ウ 文化財の調査

- ・遺跡緊急発掘調査（遺跡の記録保存）、学術発掘調査の実施
- ・市内の文化財・古文書調査の充実
- ・関係機関と連携しての文化財調査の推進

(2) 実施事業（令和元年度）

ア 文化財の保存、環境整備

- ① 指定文化財保護補助事業 6件
 - ・仁科神明宮本殿ほか保存修理
 - ・流鏝馬行事
 - ・富士浅間神社神楽殿保存修理
 - ・仁科神明宮宝蔵庫改修
 - ・覚音寺案内看板修繕
 - ・若一王子神社社叢維持管理
- ② 指定文化財保全・環境整備事業 5か所
 - ・居谷里湿原
 - ・大塩のイヌザクラ
 - ・上原遺跡
 - ・天正寺居館跡
 - ・千見山城跡

イ 文化財保護意識の高揚・活用

- ① 文化財講座 7月～12月 5回開催 参加者56人
- ② 観察会 居谷里湿原自然観察会 5月3日～5日 参加者59人
- ③ 文化財防火デー消防訓練 森城址（仁科神社） 1月26日実施 95名参加
- ④ 国重要文化財旧中村家住宅の公開。4月～11月 有料入館者705名
- ⑤ 市内文化祭文化財展の実施 美麻地区・八坂地区・大町市文化祭
- ⑥ 国宝仁科神明宮保存修理工事見学会 8月 参加者130名
- ⑦ 国宝仁科神明宮保存修理工事完成見学会 10月 参加者200名
- ⑧ 仁科氏歴史文化展 11月 来場者2,800名
- ⑨ 国登録有形文化財 旧北澤家住宅主屋（八坂大平）令和元年9月10日登録

ウ 文化財の調査

- ① 開発事業に伴う遺跡発掘調査 なし
- ② 開発事業に伴う試掘調査 3件 約24㎡
- ③ 未指定文化財建造物調査 旧栗林家住宅（わちがい）及び本通り周辺建造物
- ④ 市内土蔵収蔵物調査 古文書、民俗資料等



国宝仁科神明宮 保存修理工事見学会



仁科氏歴史文化展

(3) 指定文化財

ア 国指定文化財

(令和2年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
仁科神明宮本殿・ 中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、 檜皮葺。中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。 古式を遺す。釣屋附属指定。
木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷 宮の際の棟札。永和2年（1376）から 安政3年（1856）までの27枚が指定。
御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1, 159 （宮本）	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等 を取り付けた懸仏。11面が附属指定。 裏面に年代銘のあるものもあり。
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2, 937 （曾根原）	桁行3間、梁間3間、寄棟造、松本平で は最古の寺院建築。室町中期の建造物 と考えられる。
鉄鱧口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟地区 社4, 866-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鱧口としては わが国最古のもの。面径24cm。 表面に安貞2年（1228）の陽刻銘あり。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2, 097 （俵町）	一見豪壮華麗な桃山風を思わせる一間 社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が付属指定。 地方としては大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘 と球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林省） 平湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して、火山状 の噴湯丘になり、中央の湧き口に白い 小豆粒大の球状方解石ができる現象。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺 八坂1, 625 （藤尾）	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代 が、平安時代末期である。木像の胎内 には、願主・仏師などの名前や治承3 年（1179）3月と年代など造像事情を 記した墨書木札、白銅製菊花双雀文鏡、 紙本千手観音摺仏が納入され、白銅鏡 は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	各1軀	覚音寺 八坂1, 625 （藤尾）	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、 檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、 多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・ 建久5年（1194）、多聞天・建久6年 （1195）年と年号の陰刻銘が刻まれて おり、これが造像年代と考えられる。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H9. 12. 3	重文	2棟	大町市 美麻17, 668 （青具）	主屋は、桁行14間、梁行6間、建坪84 坪（約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟 造で、元禄11年（1698）建立と建築年 代が明らかな民家として県内最古。 土蔵は、桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明す るものとしては県下で古い例に属す。

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物

イ 国登録有形文化財

(令和2年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
平林家住宅 主屋 H29. 10. 27	登有	1棟	平林秀一 大町2, 572-1 (八日町)	間口 7 間の土蔵造 2 階建て、式台玄関や座敷棟を構えた上層町家の典型を示す。明治 22 年 (1889) の大火後の再建で、立石清重の設計により、防火や耐火の対策が講じられた大町最初の土蔵造町家として貴重な存在。
平林家住宅 文庫蔵・塩蔵・ 漬物蔵 H29. 10. 27	登有	1棟	平林秀一 大町2, 572-1 (八日町)	梁間 3 間、桁行 5 間の文庫蔵に、桁行 4 間の漬物蔵と塩蔵を増築し、置屋根形式で切妻造の屋根を架け、東正面には下屋庇をつけている。文庫蔵は中心に 9 寸角の棟持柱を立て内壁を縦板張りとした堅牢な蔵で、漬物蔵、塩蔵とともに平林家の繁栄を伝えている。
東京藝術大学山岳部 黒沢高原ヒュッテ H30. 11. 2	登有	1棟	東京藝術大学 山岳部 平4976-3	昭和35年 (1960年) に東京藝術大学山岳部によって建設された山小屋で、標高1,200mの尾根上に建つ。1階はコンクリートブロック造、2階は木造で、折板状の片流れ屋根の軒を張出し、南西面に広く開口する斬新なデザインの山小屋で、テラスからは後立山連峰を望む。戦後の登山ブームの一端を示す山岳施設である。
旧北澤家住宅主屋 R元. 9. 10	登有	1棟	江藤憲司 八坂908	嘉永2 (1849) 年頃に建設 (明治後期・昭和50年代改修) された、山間にある集落の庄屋宅で、間口の広い寄棟造茅葺 (鉄板仮葺) の二階建て、軒出桁造、山村景観の核をなす豪壮な民家として貴重である。

注：登有＝登録有形文化財



国登録有形文化財 旧北澤家住宅主屋



保存修理工事が終了した国宝仁科神明宮 本殿・釣屋・中門

ウ 県指定文化財

(令和2年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1706)に造営。松本平では唯一の塔。棟札4枚が、附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1軀	弾誓寺観世音保存会 大町4, 188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。檜材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4, 729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型と伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159 (宮本)	9月15日例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡	地域指定	大町市ほか 平1, 955-355ほか (上原)	昭和25年から数次にわたる発掘調査により、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記	地域指定	傘木篤ほか12人 大町8, 279-10ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30	天記	地域指定	若一王子神社 大町2, 097-1ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記	地域指定	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ・ヒノキが主で、他にアカマツ・クリ・コナラ・ツガ・モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大町市大黒町 大町2, 199 (大黒町)	諏訪の宮大工立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮作始め神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159 (宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6, 655-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式。各所に建築彫刻が施される。名工藤森広八の代表作であり幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシンジユガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所 地域指定	国土交通省 農具川水系 平20, 677-2先から 15, 637-1先まで 居谷里沢水系 大町8, 267-11先から 8, 194先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水生二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄造。像高19cm。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閔田)	しじこ壺1、へいし瓶子2、はじき土師器1、せいぱくじすいちゆう青白磁水注1、ぼくしよしゃきょうせき墨書写経石1。 古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。 水注は中国の景德鎮での製造と見られる。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏝馬保存会 大町2, 097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつけ、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に矢を番えて射る。
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12	天記	1本	藤川毅徳ほか8名 美麻3, 342番地 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静の桜」と呼ばれる。 目通り幹囲は8.45m、桜は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年（1706）に 建立された寄棟造、茅葺・三間四面の和 様建築。宮殿（ずし厨子）は豪華なわとうせつちゆう和唐折衷様式。 棟札附属指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財



保護事業を継続している長野県天然記念物大塩のイヌ桜

エ 市指定文化財

(令和2年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
広形銅戈 (海の口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1点	海の口上諏訪社 平14, 505 (海の口) 所有・保管は大町市 文化財センター	全長24.5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝播のありさまを物語る貴重な資料。出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	加蔵栄ほか (団体を含む) 平22, 419-3ほか (青木)	群生地としては本州の南限。淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アルプス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資 (有形)	1式	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閩田)	江戸時代から使われていた和紙製造用具。この地方の紙漉業の全容を知る上で貴重な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閩田)	墨書経石1、灰釉小皿1。県宝指定「山寺廃寺跡出土品」に付随すると考えられる出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	仏丈65cm。総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	檜材寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月廿四日、願主、喜香叟」の墨書銘あり。文安4年(1447)の製作。
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡	地域 指定	天正寺ほか 大町4, 729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移したと考えられる鎌倉末期から、室町末期に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の2重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイメ ン S62. 3. 2	天記	種指定	中綱湖ほか	県下では当市のみで生息するといわれる淡水海綿。中綱湖が主な生息地。「種」の指定。
大町市のカワシンジ ュガイ S62. 3. 2	天記	種指定	中部農具川ほか	県下では当市と戸隠に生息する淡水生二枚貝。約3万年前から存在している「生きた化石」。中部農具川、居谷里沢のみに生息。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀如 来立像 S62. 3. 23	有文	1躯	大沢寺 大町4, 156 (堀六日町)	像高49cm。総高78cm。檜材寄木造、頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊坐 像 S63. 1. 14	有文	1躯	大姥堂世話人会 平1, 298 (野口)	像高39.5cm。檜材、寄木造。室町中期の作。立山信仰の本尊。裏山道の入口にあたるこの地に、本像を請来したか。
霊松寺のオハツキイ チョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6, 665-イ (山田町)	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖返り的な珍奇な現象をもっている。全体の約1割にこの現象が見られる。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4, 730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年(1688)の建立。 棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1軀	長性院 大町3, 682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。 檜材寄木造。江戸中期。木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記	地点 指定	下一高瀬川河川敷 共有地組合 常盤6, 720-3 (上一近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。 この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方を知り、また、糸魚川静岡線の通過位置に知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪観 音坐像 H3. 5. 31	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1軀	木舟地区 社4, 886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳博物館 大町8, 056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきた。しかし国内の野生種は絶滅してしており、現在国内で飼育されているトキは、中国に生息していたものを人工繁殖させている。このような事情から国内での生息を知ることで
長野県大町高等学校 のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町岳陽高等学校 大町3, 691-2 (南原町)	できる標本は大変貴重なものとなっている。市立山岳博物館のトキは大正8年(1919)に、長野県の大町高等学校のトキは大正6年(1917)に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4, 733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m。樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としてはまれにみる大木。
弾誓寺観音堂木造伝 弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高75cm。檜材寄木造。17世紀中頃の作。 彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造伝 長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高78cm。檜材寄木造。 元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誓岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・崩沢共有 平13, 109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称『カサマツ』と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオガ エル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	西沢可雄 平23, 109-1 (築場・中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4, 203 (須沼)	東幹の樹高20.5m、目通り周囲3.5m。 西幹の樹高25.5m、目通り周囲4.1m。 薬師堂の門木の位置にある。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	像高24.1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造薬師如来立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4, 729 (十日町)	像高261cm。檜材寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	横沢毅昌 常盤8, 063-5 (西山)	目通り周囲2.95m、樹高12.5m、稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	目通り周囲3.05m、樹高8.5m。推定樹齢150年で市内最大のもつと見られる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の石像 大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので彫刻技術も秀れている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品 等	大町市教育委員会 平8, 040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	推定像高180cm。檜材寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、体部に損焼をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資 (有形)	1面	仏崎観音寺 常盤6, 966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰のあり方などがうかがえる貴重な資料である。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	飯島昌他7名 大町8, 254 (三日町)	目通り周囲5.1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にもまれな大経木である。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	倉科善吉 常盤8, 099-1 (西山)	根回り周囲5.33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮の銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	鏡の直径は、約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮の木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田のエド ヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7, 174-1 (高根)	単幹。目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社 木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6, 097 (北野)	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコミ ズシタダミ H13. 6. 27	天記	種指定	木崎湖、中綱湖	日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一間社（124cm四方）、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋善士氏所有「信 越連帯新道」関係 史料及び飯嶋家文書 一括 附、その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	飯嶋善士 平92（野口） 保管は大町市文化 財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の 木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1軀	八日町自治会 大町1, 134-9 (八日町)	像高114cm。総高168cm。檜材寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		西沢茂人ほか3名 平18, 235～18, 240 (海ノ口)	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍の標高1, 100mの山腹にある。
西沢正雄氏所有 文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 259点	西沢正雄 平55-1（野口） 保管は大町市文化 財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年（1819）から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。
栗林士郎氏所有 文書一括 H17. 3. 25	有文	1式 2, 581点	栗林士郎 大町4, 084 (下仲町) 保管は大町市文化 財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く貴重なものである。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
しょうぶ 生婦平出土銅造端花 そうちゅうはちりょうきょう 双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1点	大町市 八坂1, 108-1 八坂支所 (大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。 直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の木造 地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 八坂1, 298 (大平)	像の制作年代は南北朝時代 (14世紀前半) 檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。 全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	小松尾諏訪神社 八坂5, 693 (小松尾)	江戸時代後期の文化13年 (1816) の建造。 一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八 (大隅流) により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H18. 3. 27	民資 (無形)		飯綱神社 八坂25, 794 (梨平)	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 八坂14, 695 (野平)	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村 (麻績組) 大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文	1基	八坂医王会・大日講中 八坂9, 641-1 (矢田川)	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像 (庚申像) が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3 (1718) 年。③庚申塔が江戸後期の文化14 (1807) 年。④徳本上人名合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3 (1850) 年となる。
北条蜂の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	寺島昭一ほか3名 八坂13, 609-ロ-1 (北条)	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。制作年代は、江戸後期の文政元年 (1818) 。
曾山の善光寺千人 参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 八坂9, 179-4 (曾山)	江戸時代後期の弘化2年 (1845) の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願揮。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2,708 (大塩)	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社神楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2,708 (大塩)	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1式 16面	富士浅間神社 美麻2,708 (大塩)	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のもものが主体。大型のもものが多く、製作年間は安永6年(1777)年から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 美麻25,878 (千見)	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営建築である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27	有文	1式 14面	千見神明宮 美麻25,878 (千見)	千見神明宮に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 美麻9,152 (二重)	一間社・流造り。彫刻が優れる。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関守門 H18. 3. 27	有文	1棟	下條秀則 美麻26,036 (千見)	旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、警備にあたった。門正面は三間、奥行二間の門に、切妻屋根。
下條秀則氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 169点	下條秀則 美麻26,036 (千見)	江戸時代初期元和年間(1615)から明治時代初期の武家・松本藩の記録、関守関係文書を中心とする藩政の一端を担った在地の記録として貴重な文書。
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資 (無形)		水上神社 美麻9,152 (二重)	現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。袴に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
中村武本氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 616点	中村一仁 美麻17, 668 (青具)	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26④追加指定	有文	4点	山本はる子 ほか2名 保管は旧中村家住宅土蔵 美麻17, 668番地 (青具)	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・ ^{ぼくら} 博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	戴神社 美麻権現山南東 (新行)	権現山の山麓に堂屋敷と言いつた碑文が残る屋敷跡。附属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	千見神明宮ほか 6名 美麻城山25, 450-ロ-3 ほか (千見)	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)火攻めにされ落城したと伝えられる。一の郭東西50m×南北20m、二の郭東西40m×南北30m、三の郭東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	倉品愛子ほか5名 美麻855ほか (大塩)	一の郭(12×27m)、二の郭、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、征城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	伊東久雄ほか5名 美麻938ほか (大塩)	遺跡内では平成5年と平成13年における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土灰 釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	田中一志 保管は 旧中村家住宅土蔵 美麻17, 668番地 (青具)	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川重忠氏所有木造 阿弥陀如来立像 H18. 3. 27	有文	1躯	横川重忠 常盤4, 308-3 (須沼)	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1躯	横川重忠 常盤4, 308-3 (須沼)	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36.5cm。同じ堂にあった木食山居作と推定される、江戸時代中期の木造聖観音立像が附属指定。
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記	1本	宮田武男 美麻21, 770 (青具)	坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4.73m、根回り4.7m、高さ21.3m。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記	1本	水上神社 美麻9, 152 (二重)	水上神社ご神木。目通り6.3m、根回り7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記	1本	種山賢児ほか3名 美麻34, 161-ロ 若栗峠 (高地)	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の幹枝。
たかはしひろお 高橋鴻生氏所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 379点	高橋鴻生 社6, 567 (松崎) 保管は大町市文化 財センター	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、閩田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村方文書を主とする文書がある。文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町西小学校 大町4, 733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
ほちまる 八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 2, 425点	栗林守男 保管は大町市文化 財センター	江戸時代中期以降大町組の大庄屋を勤め、明治時代においても大町の大要職にあった八〇栗林家に残された古文書類で、江戸・明治時代の大町の様子を知ることでできる文書。
やません 山千永田家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 585点	永田 誠 常盤3469-92 (上一) 保管は大町市文化 財センター	美麻千見において江戸時代大町組千見村の庄屋、一時期に大町組の大庄屋、明治時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併など新しい時代の村づくりに尽くした永田家に残された古文書類。江戸・明治時代の山間地域の様子を知ることでできる文書として貴重。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物



文化財防火デー消防訓練

木崎湖から取水し、比高差のある森城址へ、ポンプ車4台とポンプ2機をつないで放水を行った

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、平成15年3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定しました。

また、平成20年には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めています。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行いました。

市民一人一人が人権教育を通じて、人権問題を自分自身の課題として捉え、同和問題をはじめ、外国人、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット等に係る様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し、明るく差別のない、市民参加と協働のまちづくりを進めています。

- ・あらゆる機会を通じた人権教育の推進
- ・市民の主体的な参加の促進
- ・人権の理解から人権尊重へと意識の高揚を図り、自らの尊厳を認識する場の提供
- ・異なる文化や考え方等、多様性を互いに尊重し合う共生の心の醸成

地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にす人権教育の推進を図るため、学校、家庭・地域、企業、県の機関・組織、市の関係課等と連携・協力しながら人権教育の総合的な取り組みを進めます。

(1) 重点課題

- 1 人権教育推進体制の充実と連携の強化
家庭、地域、企業等、推進組織の充実と幼稚園・保育園を含む学校教育、PTAとの連携
- 2 人権教育指導者層の充実と資質の向上
人権関係団体、人権教育推進協議会の委員、企業人権教育推進協議会の会員、社会教育関係者等の研修機会の提供
- 3 教育・啓発活動の推進
人権尊重に向けた取組の広報、啓発資料の配布と映像教材の貸し出し
- 4 学校、地域、企業、行政の人権学習活動の充実
各機関におけるあらゆる機会を捉えた人権教育の推進・啓発の促進

(2) 令和元年度人権教育推進事業

ア 就学前教育関係

(ア) 市立保育園・私立幼稚園・認定こども園に人権教育の推進を呼びかける。

(イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教職員が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 市内小中学校より2校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を拡げる。
- ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会と授業公開・懇談会の開催や実践のまとめを行う。
- ④ 助成希望を通して、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成17年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展や有線放送を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・老人クラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ PTA連合会・各学校PTA
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 研修会、人権教育講演会を実施し、人権・同和問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ

- ② 市役所職員の研修会への参加
- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進
- (エ) 社会人権教育設備及び教材の整備
 - ① 啓発DVD等の視聴覚教材等の充実整備
 - ② 人権関係資料・教材の整備（常盤公民館 同和教育資料室を含め）

エ 社会人権教育活動の推進

- (ア) 人権を考える市民の集い
 - ① 市内6地区の学校を会場に開催
- (イ) 市内全地域・全市民対象の人権教育
 - ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
 - ② 広報活動の拡充 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
 - ③ 公民館が開設する講座等に人権教育学習を組み込む場合の協力
- (ウ) 企業人権教育の推進
 - ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
 - ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
 - ③ 企業人権教育推進協議会研修の実施
 - ④ 企業独自の人権教育の推進への協力と啓発
- (エ) 同和問題に対する教育の推進
 - ① 大町市人権・同和教育推進懇談会事業計画の策定と学習の促進
 - ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力
- (オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力
 - ① 各種人権啓発事業、研修参加での連携
 - ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

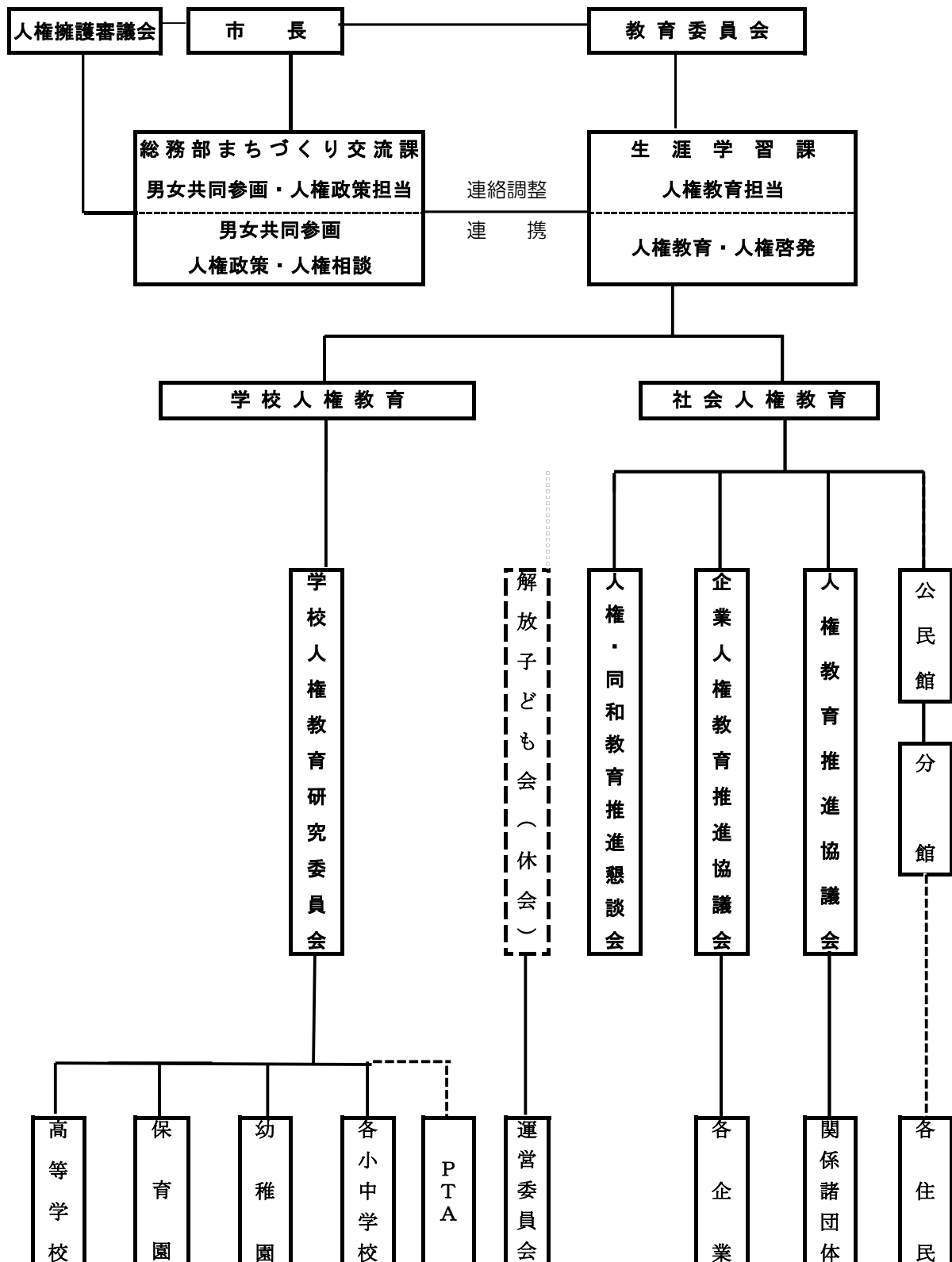
- (ア) 人権教育の学社連携の拡充
 - ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への地域・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
 - ② 地域社会の一員として「人権を考える市民の集い」へのPTA参加の呼びかけ
- (イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の推進
 - ① 「集い」の案内、チラシ、パンフレット、資料、広報紙による啓発活動
 - ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
 - ③ 対外的な各種研修会の案内及び担当者の随行
 - ④ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
 - ⑤ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の協力・資料の配付

(3) 令和元年度実施事業

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者		
人権教育・啓発事業	人権を考える市民の集い	市民一人一人が人権問題を自分自身の問題として捉え、互いの人権を尊重する意識や態度を身につけ、人権尊重を当たり前のこととして行動できるよう地区ごとに、学校を会場として、児童生徒と地域住民が一堂に会し、児童生徒の意見発表と講演を通じて人権学習を進める集いを開催する。	6月24日 大町北小学校	「ネット ここが心配」 ～SNSの危険性と留意点～ 南澤 信之 「ボランティア委員会の活動を通して」 大町北小学校6年生 田中 天菜	352 (一般) 96		
			7月18日 仁科台中学校	「ピアノ&トークコンサート」 ～視覚障がい乗り越えて～ 大月 裕夫 「いじめ追放宣言に向けて」 仁科台中学校3年 原 駿太・小坂 悠太	385 (一般) 24		
			8月30日 八坂小学校	「君は一人じゃないから」 ～LGBTの啓発に向けて～ 長岡 春奈 「価値観の違い」 八坂小学校6年生 北澤 虹心 「人によって感じ方はちがう」 八坂中学校3年生 橋元 理央	141 (一般) 67		
			9月12日 美麻小中学校	「聴覚障がい者でも世界に羽ばたける」～聴覚障がい乗り越えて～ 中村 晃大 「普通って……」 美麻小中学校6年生 村越 さくら 「言葉の力」 美麻小中学校8年生 間藤 仁美	143 (一般) 48		
			10月11日 大町南小学校	「バリアフリーってなあに？」 ～筋萎縮症の当事者が語る～ 朝霧 裕 「差別のない平和な世の中へ」 大町南小学校6年生 丸山 莉奈	287 (一般) 61		
			11月7日 大町東小学校	「日本に住んでみての発見」 ～異文化へのチャレンジ～ 清水 ジェニー 「なかよし川柳」 大町東小学校6学年	215 (一般) 94		
			授業公開・懇談会	授業参観及び懇談会を通して、人権教育における学校と地域との連携を深め、一層の進展に資する。	11月13日 大町東小学校	授業学級 3年 助言者 中信教育事務所指導主事 内川 才	42 (一般) 5
					仁科台中学校	授業学級 各学年より1学級 助言者 中信教育事務所指導主事 松井 秀文	50 (一般) 4
			ポスター、作文募集、作品集発行	児童生徒に人権学習の一環として人権に関する作文・ポスター制作を依頼し、作品集を編集して配布する。	11月募集 2月発刊	「ヒューマンライツ」第42号	94
			ポスター展示	作品集に集録した作品を一般市民に公開する。	1月20日～27日 庁舎展示コーナー		44
作文の有線放送	集録作品から選定した作品を有線放送農協同組合が放送する	3月初旬 朝、昼、夜	旧市内小中学校	6			
			大町岳陽高校	1			

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
	幼稚園,保育園,小学校,中学校,高等学校が実施する講演会等への助成	学校等で計画する人権に関する講演会等に対して講師謝礼などを補助する。	11月5日 第一中学校 11月18日 大町東小学校	「身障者として生きて」 永田 浩幸 「目の見えない方の生活を知ろ」 古田 綾夫	274 41
	人権・同和教育推進懇談会事業の開催	人権・同和教育推進懇談会の開催と、交流研修会及び講演会の開催	12月2日	啓発DVD「日本国憲法と部落差別の視聴 部落解放同盟市協議会長の講話 小林 仁	37
			1月18日	講演「古文書に学ぶ松本領内の被差別部落」 高木 美好	32
	啓発DVD貸し出し	資料貸し出しによる人権啓発	随時		3
研修会の開催	人権教育推進協議会研修会	人権教育推進協議会主催	5月10日	啓発映画会 「なくそう！職場に潜む心の病」 「同和問題～未来に向けて～」	23
	企業人権教育推進協議会研修会	企業人権教育推進協議会主催	6月13日	講演「企業と人権」 ～職場から作る人権尊重社会 長野地方法務局大町支局長 濱崎 慶太	40
	学校人権教育研究委員会研修会	学校人権教育研究委員会主催	5月20日 市役所	講話「人が大切にされる地域づくりをめざして」 中信教育事務所指導主事 松井 秀文	20
	人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会、人権擁護審議会の合同視察研修		10月16日 台風被害により中止	「松本市歴史の里」 「戦没画学生慰霊美術館 無言館」	—
	対外的な研修会の案内及び随行		約10回	中信教育事務所・大北企業人権 主催等	60

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進します。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきましたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となりました。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 36分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 2 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 21分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	小会議室 中会議室 講堂1・2 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 令和元年度実施事業

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区市民運動会 大町地区球技大会（ソフトボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフ） 北アルプス囲碁・将棋大会（年2回） 各種講座の開設 大町市文化祭	平地区市民球技大会（ソフトボール、ソフトバレーボール） 平地区少年少女球技大会 平地区市民運動会 平地区市民マレットゴルフ大会 平地区市民ゴルフ大会 各種講座の開設 文化祭（ピュアフエスタ）	常盤地区球技大会（ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ） ゲートボール大会 常盤地区運動会 常盤少年駅伝競走大会 常盤囲碁・将棋・マージャン大会 常盤地区子ども球技大会 サークル活動展示会 各種講座の開設	社地区球技大会（野球、ソフトボール、ゲートボール、女子ソフトバレーボール、男女混合ソフトバレーボール、マレットゴルフ） 子ども球技大会 社地区親睦運動会 元旦マラソン 各種講座の開設 社地区文化祭・民俗資料館特別展	美麻地区運動会 美麻地区夏季球技大会 （ソフトバレー、ゲートボール、グランドゴルフ） 美麻地区冬季スポーツ大会 （綱引き大会） 各種講座の開設 美麻地区文化祭	学友会お盆球技大会 （ソフトボール、マレットゴルフ） 八坂地区ふれあい運動会 八坂地区文化祭 郷土かるたもちつき大会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(令和元年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/1～3/31	40	400	すくすく広場	6/6～2/13	16	832
菊づくり講座	4/27～9/15	6	24	初めての陶芸講座①	10/13～12/22	6	36
歴史・哲学講座	7/21～12/15	5	194	初めての陶芸講座②	1/26～2/23	3	12

平公民館

(令和元年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室ひよこクラブ	5/22～2/19	15	300	竹細工講座	10/2～11/20	8	40
初心者のためのスマホ講座	5/22～6/5	3	54	本場のインドカレー講座	12/22	1	15
中華料理講座	6/19～7/10	4	63	ミニほうきづくり講座	12/26	3	12
自然探訪講座	8/8・10/18	2	24	レザークラフト講座	1/24・1/31	2	25
そば打ち講座	11/27～12/25	4	24				

常盤公民館

(令和元年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
鯨の峰へのぼろう	5/25	1	15	そば打ち教室	11/19～29	4	16
親子教室ともだち広場	6/12～2/26	16	540	初めての庭木の剪定講座	11/28・12/5	2	33
布でつくる押絵の干支	10/3～10/17	3	17				

社 公 民 館

(令和元年度)

講 座 名	期 間	回数	人数	講 座 名	期 間	回数	人数
やしろ史跡巡り講座	5/16	1	12	花咲く書道講座	11/14・21・28	3	8
親子教室なかよし広場	5/22～2/19	19	223	そば打ち講座	12/14・21	2	11
体力Upエクササイズ講座	11/21～12/19	5	82	やしょうまづくり講座	2/19	1	12

大町公民館分室 対象講座なし

美 麻 公 民 館

(令和元年度)

講 座 名	期 間	回数	人数	講 座 名	期 間	回数	人数
探 索 ハ イ ク	6月3日	1	17	介 護 予 防 「脳リフレッシュ教室」	5/13～12/17	19	222
元 気 ア ッ プ 講 座	6月22日	1	17	みあさUniウォーキング教室	10/26～12/7	4	34
美 麻 地 区 合 同 登 山	7月13日	1	3	自 然 体 験 教 室 (通 学 合 宿)	6/12～16	1	21
ゆっくり体操クラブ	6/17～8/5	4	11	美麻地区合同スキー活動	2/10・15	2	5
親子教室パンダクラブ	5/24～2/5	11	77	高 齢 者 ・ 熟 年 学 級	6/13～12/4	7	161
親子教室コアクラブ	5/24～2/5	5	22	男性のための貯筋塾	4/9～2/18	18	86
お 手 伝 い し 隊	7・8月	2	34	みあさ木彫り教室	7/25～10/10	6	30

八 坂 公 民 館

(令和元年度)

講 座 名	期 間	回数	人数	講 座 名	期 間	回数	人数
高 砂 大 学	6/11～12/12	9	420	八 坂 地 合 同 登 山	7/13	1	0
自 然 体 験 教 室 (通 学 合 宿)	6/12～16	1	4	体 操 教 室 (元 笑 気 ク ラ ブ)	8/21～10/30	6	60
す こ や か 広 場	6/18～2/14	8	59	ふるさと伝承事業 お年寄りと小学生の交流	11/21	1	70
八坂塾(地域文化伝承)	7/4～11/29	9	81	八坂地区合同スキー活動	2/10・15	2	16

大町公民館分室サークル一日体験開催状況(令和元年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
日本空手道剛柔流剛誠館(空手)	9/14	19:00-20:45	安曇野環境浄化の会(石鹸作り)	9/16	10:00-11:30
大町童謡唱歌を歌う会(童謡唱歌)	9/21	10:00-11:30	早春賦を愛唱する市民の会(唱歌)	9/23	10:00-12:00
むつみ会(社交ダンス)	9/28	13:30-15:00	書 草 会 (書 道)	10/4	9:30-11:30
レザークラフト(革細工)	10/11	19:00-20:00	せせらぎ会(俳句)	10/17	14:00-17:00
やまなみ会(俳句)	10/17	18:00-20:00	ライズ(社交ダンス)	10/25	19:30-21:30

大町公民館サークル一日体験開催状況(令和元年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間

平公民館サークル一日体験開催状況(令和元年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間
朗読はづきの会	9/28	13:30~16:00
式部の会(茶道)	10/19	9:30~12:00
大町太極拳クラブ	11/13~12/4	19:00~21:00

常盤公民館サークル体験開催状況(令和元年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
太極拳	5/21.26	13:00~15:00	スポーツ吹矢	1/31. 2/7	10:00~12:00

(4) 利用状況

(令和元年度)

館名	利用件数	利用延べ人数	館名	利用件数	利用延べ人数
大町公民館	1,709	17,810	大町公民館分室	1,804	19,764
平公民館(女性未来館との合計)	1,706	22,181	美麻公民館	258	4,401
常盤公民館	1,344	21,137	八坂公民館	197	2,516
社公民館	278	4,798	蔵の音楽館	253	861

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行います。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指して、積極的に図書館サービスを行います。

さらに「子どもの読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しみ、成長段階に応じた読書ができる環境を提供するよう努めます。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図ります。
- ・ おはなし会やブックリストなど乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講じます。
- ・ 小中学校と連携・協力し、子どもの読書活動の推進を図るとともに、調べ学習に役立つ図書館を目指します。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい施設とサービスの提供を進めます。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図ります。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応えます。
- ・ インターネットのホームページやFacebook を利用した情報提供を推進します。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図ります。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努めます。

(3) 施設

名 称	市立大町図書館		
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6		
建 物	R C 造 2 階建		
	床面積	1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分	
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 6 時（12 月～3 月 午後 5 時）	
休 館	○毎週月曜日	○年末年始	○館内整理日（毎月最終の火曜日）
	○資料整理点検期間（毎年 6 月中の必要期間）		

(4) 令和元年度図書館事業実施状況

事業名	内容	実施時期	参加対象者・数	方法
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児～大人	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	乳児～大人	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・1歳6ヶ月児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	読書ボラグループおすすめ本 もんぺのおばちゃんお話し会
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
民話人形展示	常時	一般		
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎月第3土曜日	幼児～大人	職員 ボランティア
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かつこう」の会 「ほたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内7保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え(幼稚園) 2月 回収
高齢者施設読書推進	施設訪問による読み聞かせ	随時	施設入所者	職員・ボランティア
シルバー文庫	高齢者施設への本の配本	随時	施設入所者	随時配本
託児サービス	保護者が安心して図書館を利用できる無料サービス	月1回	生後6か月から就学前まで	ファミリーサポートバンビ
図書館相互利用促進事業	大北5市町村の図書館の相互利用と図書の輸送システムの運用	週2回	利用者全般	シルバー人材センター
読書活動推進イベント	子ども読書の日・子どもの日イベント			4月下旬～5月上旬
	秋の読書週間イベント			11月上旬
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
ボイストレーニング&朗読講座	ボイストレーニング・朗読指導	4・8・10・12・2月	利用者全般	ボランティア講師
おおまの歴史講座	大町市の歴史についての講演会	6・7・8・9・10・11・12月	利用者全般	ボランティア講師
手づくり絵本巡回展	手づくり絵本の展示	4月下旬	利用者全般	ボランティア
もんぺのおばちゃんお話し会	大町の民話お話し会	5・7・9・11・1月	利用者全般	ボランティア
蔵書点検	図書の整理	6月17日～7月1日		休館/職員・ボランティア
開館20周年イベント 図書館マルシェ&シネマ	館内及び敷地内でマルシェを開催 視聴覚室にて映画上映	4月27日	利用者全般	職員・ボランティア・講師依頼
図書館脱出ゲーム	図書館を利用したスタンプラリー形式のゲーム	5月3日・4日	利用者全般	講師依頼
夜間開館	利用促進のためPM8時まで開館	7・8月の金曜日 (8月16日除く)	一般	講師依頼
カブトムシのプレゼント	市民から提供いただいたカブトムシを子どもたちにプレゼント	7月31日～8月22日	利用者全般	職員
調べる学習にチャレンジ	夏休みこどもの居場所対策事業	8月7日	小中学生	職員
開館20周年記念式典・講演会	開館20周年記念式典と山崎登氏の記念講演会を開催	10月5日	一般	職員・講師依頼
読書マラソン	期間内に決められた貸出数を超えた利用者に抽選で賞品をプレゼント	11月1日～12月28日	一般	職員
図書館キャラクター名前募集	オリジナルカードキャラクターの名前を公募	12月20日～2月29日	一般	職員
BookBook2019	お話し会を中心としたイベント	10月5日	利用者全般	ボランティア
図書館寄席	地元の落語家による寄席	6月16日・8月9日・1月18日	一般	講師依頼

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	方 法
ロボット (NAO) 設置	情報センターとの協力企画	1月21日～	一般	職員
刺子講座	刺し子でコースターの作成	1月31日	利用者全般	講師依頼
本の講座 (対談)	絵本作家と書店店主による本に関する対談	2月15日	一般	講師依頼
シニアのためのチャレンジ講座	シニアにいろんなことをチャレンジしてもらい脳を活性化と認知症要望	第1回 7月17日・24日 第2回 9月17日 第3回 11月21日	利用者全般	講師依頼・職員
	夏休みこども工作	8月1日	小中学生	講師依頼
	水引き講座	10月19日	一般	講師依頼
	ハロウィン工作	10月27日	一般	職員
	お正月飾り講座	11月3日	一般	講師依頼
	ワイン講座	11月23日	一般	講師依頼
	クリスマスリース作り講座	12月1日	一般	講師依頼
	クリスマスお楽しみ会	12月14日	利用者全般	職員・ボランティア・演者
	本の福袋	1月上旬	利用者全般	職員
	昔ながらのゲーム大会	1月26日	利用者全般	職員・ボランティア
リサイクル本	リサイクル本の配布	年3回	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 令和元年度 子どもの読書活動推進

事業	内 容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と1歳6ヶ月児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書の充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 おいでえほんのおへや	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫 《園児の選書力》 《親子読書の推進》	○園文庫の配本と巡回 ○各施設との意見交換及び状況確認	市内の3幼稚園、7保育園、 子育て支援センター、中央 保健センター(巡回は年2回)

② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場 *ブックトーク	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習 ○児童支援施設等でブックトークを実施	市民全般（毎月） 小学生（毎月） 施設利用者（隔月）
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催（子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等） ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡（図書館運営・蔵書・選書などの意見交換） ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表（協議会委員）
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生

③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座 及び活動ボランティア との連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催 *Book Book 2019	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実 と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの 充実	○テープ図書の作成	障がいを持つ子ども
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページ、Facebookの活用 ○市役所と議会に図書館だより配布 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(令和2年3月31日現在)

分 類			分 類			
	蔵書冊数	構 成 比		蔵書冊数	構 成 比	
一 般 図 書	N 郷土資料	7,340 冊	5.0 %	児 童 図 書	35,129 冊	23.8 %
	0 総 記	4,042	2.7	紙 芝 居	1,115	—
	1 哲 学	4,412	3.0	合 計	147,482	100.0
	2 歴史・地理	9,789	6.6	園 文 庫	3,790 点	—
	3 社会科学	15,161	10.3	雑 誌	5,127	—
	4 自然科学	8,491	5.8	視 聴 覚 資 料		
	5 工業・工学	8,284	5.6	C D	1,818 点	—
	6 産 業	4,032	2.7	ビ デ オ	1,568	—
	7 芸 術	11,923	8.1	D V D	703	—
	8 語 学	2,020	1.4	テ ー プ 図 書	1,781 本	—
	9 文 学	36,212	24.6	総 合 計	162,269	—
	小計	111,706	—			
	文 庫	6,737	—			
	大 活 字 本	1,825	—			
参 考 図 書	406	—				
新 書	13,915	—				
点 字 図 書	647	—				

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(令和元年度)

分類		児童	一般	合計	構成比
一般 図書	0 総記	61	737	798 冊	0.99 %
	1 哲学	107	1,819	1,926	2.40
	2 歴史・地理	329	4,651	4,980	6.19
	3 社会科学	275	3,740	4,015	4.99
	4 自然科学	324	3,958	4,282	5.33
	5 工業・工学	938	10,992	11,930	14.84
	6 産業	275	3,104	3,379	4.20
	7 芸術	1,143	5,819	6,962	8.66
	8 語学	43	683	726	0.90
	9 文学	605	26,440	27,045	33.64
	E 絵本	15	26	41	0.05
	B 文庫	492	7,349	7,841	9.75
	D 大活字本	129	2,091	2,220	2.76
	R 参考図書	0	12	12	0.01
	S 新書	459	3,777	4,236	5.27
	小計		5,195	75,198	80,393
児童 図書	0 総記	222	327	549	1.02
	1 哲学	213	238	451	0.84
	2 歴史・地理	704	674	1,378	2.55
	3 社会科学	339	371	710	1.32
	4 自然科学	1,548	1,716	3,264	6.05
	5 工業・工学	580	680	1,260	2.34
	6 産業	338	262	600	1.11
	7 芸術	826	930	1,756	3.25
	8 語学	118	166	284	0.53
	9 文学	4,382	5,795	10,177	18.86
	E 絵本	9,573	22,538	32,111	59.51
	K 紙芝居	461	846	1,307	2.42
	D 大活字本	2	33	35	0.06
S 新書	5	68	73	0.14	
小計		19,311	34,644	53,955	100.00
郷土資料	49	620	669	—	
雑誌	686	4,766	5,452	—	
視聴覚資料					
C D	137	1,712	1,849 点	—	
ビデオ	14	54	68	—	
D V D	1,452	2,517	3,969	—	
テープ図書	0	119	119	—	
合計		26,844	119,630	146,474	—

イ 月別貸出数と登録者数

(令和元年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	24	11,077	462 冊	138	6 人	34
5	24	10,451	435	207	9	38
6	14	9,591	685	175	13	28
7	25	13,322	533	382	15	48
8	26	12,533	482	723	28	62
9	24	11,200	467	374	16	30
10	26	12,371	476	222	9	903
11	25	12,238	490	297	12	202
12	23	12,385	538	195	8	25
1	23	12,484	543	249	11	37
2	24	13,540	564	258	11	29
3	25	15,282	611	170	7	30
計	283	146,474	518	3,390	12	1,466

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
 所在地 大町市大町8056-1
 電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
 敷地面積 41,575.69㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造〔地上3階・地下1階〕
 床面積 1階：1,177.4㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.7㎡ 地階：159.2㎡
 附属施設 附属園・山岳図書資料館

(2) 令和元年度 資料収集・保存管理事業

ア 収蔵資料

[令和2年3月31日現在]

人文科学系資料		自然科学系資料			
区分	数量	区分		区分	数量
山岳	9,863	菌類(液浸標本)	129	哺乳類(剥製等標本)	242
山岳・美術寄託	409	蘚苔類(乾燥標本)	674	鳥類(剥製標本)	662
歴史	12	維管束植物(液浸標本)	7	昆虫(標本ドイツ箱)	258
民俗	958	維管束植物(さく葉標本)	8500	昆虫(未標本作製)	約4,600
美術	450	魚類(液浸標本)	62	昆虫(液浸標本)	27
考古	0	両性爬虫類(液浸標本等)	72	その他液浸標本	103
図書・AV	27,849	貝・甲殻類(液浸標本)	13	図書・AV	6,649
計	39,541	地質標本(岩石、化石、鉱物)	3,022	計	24,891
					総計 64,432点

イ 資料収集

山岳資料、山岳図書資料、地質標本、植物さく葉標本13件1,971点ほか一式を寄贈により受け入れ。

ウ 飼育動物・栽培植物

[令和2年3月31日現在]

種名	雄	雌	不明	計	種名	雄	雌	不明	計
ホンドタヌキ*	1			1	アオクビアヒル*	1			1
ハクビシン*	2	1		3	トビ*			8	8
ニホンカモシカ*	1	3		4	チョウゲンボウ*	1	1		2
					キジバト*			2	2
					フクロウ*			1	1
					スバルライチョウ	1	1		2
					ニホンライチョウ	5	3		8
計	4	4		8	計	8	5	11	24

*保護動物を含む

栽培植物69種

(3) 令和元年度 調査研究事業

ア 主な調査研究事業

- ① ライチョウ飼育増殖技術確立を目指した研究
- ② 高山植物の生活史に関する研究
- ③ 爺ヶ岳におけるライチョウの生息域内の山岳気象観測
- ④ 爺ヶ岳「タネマキジイサン」雪形伝承に関する資料調査
- ⑤ 仁科三湖の自然と文化に関する調査
- ⑥ 博物学に関する資料調査・研究
- ⑦ 大北地域の植物分布調査

(4) 令和2年度 教育普及事業

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
企画展「日本山岳画協会 大町展」	4月25日～7月12日
企画展「博物学と登山」	7月18日～9月27日
企画展「雪が織りなす物語」	10月3日～1月17日

イ 常設展示

展示資料点数1,110点（自然科学系551点、人文科学系559点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「さんばく研究最前線」出張展示	4月、7月、11月、1月の各2週間	大町市役所
安曇野アートライン推進協議会 アートライン展	2020/11/21～12/20	国営アルプスあづみの公園

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会総会記念講演会「大町市にみる岳・野・湖・山」	4月18日
「日本山岳画協会大町展」オープニングセレモニー	4月25日
「日本山岳画協会大町展」ワークショップ木版画刷実演	4月29日
付属園まつり	5月2日～6日
「日本山岳画協会大町展」ワークショップ絵画教室	6月7日
「日本山岳画協会大町展」ワークショップ山のぬり絵はがきづくり	6月28日
「博物学と登山」ミュージアムガイド	7月19日・8月10日・9月26日
「博物学と登山」フィールドワーク白馬大池登山	7月28日～29日
「博物学と登山」ワークショップ一壇百験～山のミニ科学実験教室	8月1日
自然ふれあい講座「みんなで温暖化ウォッチ セミの抜け殻を探せ！」	8月4日
「博物学と登山」さんばくゼミナール「信州の教育者・地質学者 保科百景」	9月20日
バックヤード見学会「博物館収蔵庫・図書資料館を見て回ろう！」	9月22日
「雪が織りなす物語」ミュージアムガイド	10月4日・12月19・20日・1月17日
「雪が織りなす物語」さんばくゼミナール「雪が織りなす物語」	11月15日
山のサイエンスカフェ in さんばく2021	3月7日・14日

オ その他の主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会活動への支援・協力	4月～3月
学校との連携授業(市内小学校の博物館活用事業)	4月～3月
博物館実習の受入	7月31～5日 (6日間)
学習会等への協力(出張講座等)	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
市民登山への協力	8月
博物館資料の貸出(特別利用)	4月～3月
山岳図書資料館の利用	4月～3月
観覧者への展示解説(事前依頼者)	4月～3月

カ 主な情報発信

『山と博物館』の発行 季刊(春、夏、秋、冬) 市内全戸配布10,500部発行
 『山岳博物館研究紀要』の発行(第5号)
 『山岳博物館年報』の発行(令和元年度版)
 インターネット・ウェブサイト、SNSの運用

キ 他団体との主な連携

大町博物館連絡会
 安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
 大町山岳博物館友の会
 長野県山岳総合センター
 ライチョウ会議
 信州大学山岳科学研究所との研究協力協定
 長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
 全国山岳博物館等連絡会議
 (公財)富山市ファミリーパーク公社とのライチョウ類の飼育技術提携に関する協定
 (公社)日本動物園水族館協会
 オーストリア・インスブルック市との友好提携協定、アルプス動物園との友好提携協定

ク ミュージアムカフェ・ショップの営業(委託:もるげんろーと)

(5) 令和2年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

動物の生体展示
教育普及への活用
傷病鳥獣の救護
希少種の保護・繁殖
施設整備(付属園整備構想及び計画の見直し)

イ 植物栽培繁殖



企画展「博物学と登山」さんばくゼミナール
「信州の教育者・地質学者 保科百助」講演会風景



「博物学と登山」ワークショップ
一塚百駈～山のミニ科学実験教室



バックヤード見学会
「博物館収蔵庫・図書資料館を見て回ろう！」

(6) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	18,294	10,427	101	795	2,782	440	613	3,136
28	16,890	9,774	98	709	2,442	433	540	2,894
29	18,692	10,210	77	735	3,084	230	1,176	3,180
1	19,097	10,795	79	840	2,895	245	826	3,417
2	19,881	11,459	115	1,070	3,305	247	391	3,294

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとします。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12月から3月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っています。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介しています。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・簀（す）・すき舟・馬鋏（ませ）などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介しています。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめています。

(3) 利用状況

入館者状況

年 度	総 数
62	1,859 人
63	1,856
元	2,169
2	1,992
3	2,064
4	1,723
5	1,284
6	1,434
7	1,048
8	1,104
9	845
10	1,139
11	676
12	690
13	634
14	492
15	427
16	253
17	534
18	227
19	367
20	355
21	468
22	527
23	623
24	681
25	588
26	635
27	537
28	600
29	560
30	511
R 元	472

9 文化会館

文化都市おおまの創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、計画的な施設の改善を図りながら、市民要望に応じた優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 芸術文化活動の支援

市民の芸術文化活動の発表の場として、市民芸術祭を開催します。
また、自立して、団体独自で発表会等を実施する活動を積極的に支援します。

2 芸術文化に触れる機会の充実

劇団四季ミュージカルの公演等を実施し、市内の児童・生徒が、低料金で鑑賞できるようにするほか、市民ニーズに沿ったコンサートなどを開催します。
また、舞台芸術を身近で感じられるように、学校・施設等での演奏会を実施します。

3 芸術文化団体の育成・支援

大町市芸術文化協会への加盟促進を図りつつ、市内芸術文化団体のそれぞれの活動への支援を通して育成し、自主的な芸術文化活動を促進します。
大町市少年少女合唱団の団員の加入促進、集団活動を通じた子どもたちの人間形成を図るなどの活動の支援を通して、地域の子どもの育成を図ります。

4 市民参加と協働による特色ある文化の創設

市民参加による、地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、協働で事業を実施します。

5 文化施設の整備

計画的な改修に努め、市民芸術活動の拠点となる施設の整備と充実を図ります。

(1) 施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	T E L 0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（親子室、車椅子席あり）、練習室3室、 リハーサル室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、和室研修室（20人）、小会議室（25人）、 中会議室（50人）、研修室（75人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

(2) 令和元年度実施事業

事業名	期 日	主な出演者等
劇団四季ミュージカル観劇ツアー「キャッツ」	5月18日	劇団四季
大町寄席	6月15日	柳家圭花、ホームラン、古今亭志ん陽、林家二楽、柳家小さん
ベンチャーズ 結成60周年記念ジャパン・ツアー2019	7月28日	ベンチャーズ
舞台 家族のはなし	8月17日	木戸邑弥、まなこ、西村菜那子、高橋彩香、ほか 原作：鉄拳 脚本・演出：吉田武寛
南こうせつコンサートツアー2019 ～いつも歌があった～	8月25日	南こうせつ
ちっちゃなコンサート 音楽っていいな。	10月5日	小谷口直子、北口大輔、塩見亮、栗林さとし
市民が主役のエンターテイメント 2019 大町市民芸術祭	11月3日	「市民芸能SHOW」
	11月3日	「日本舞踊」
	11月10日	「DANCE LIVE 2019」
	11月17日	「Sky Blue ミュージックコンサート」
	11月24日	「信濃大町 ROCK LIVE」
劇団四季「こころの劇場」 ミュージカル『はだかの王様』	12月8日	劇団四季
稲垣潤一コンサート2019	12月21日	稲垣潤一
大町市少年少女合唱団 定期演奏会	12月14日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会 はばたきの集い 【中止】	3月8日	大町市芸術文化協会加盟団体
劇団四季ファミリーミュージカル 「カモメに飛ぶことを教えた猫」【中止】	3月27日	劇団四季
羽毛田丈史ソロコンサート image la plume in 信濃大町【中止】	3月29日	羽毛田丈史、宮本笑里、春待ち合唱団 天野清継、一本茂樹、結城貴弘

(3) エコーホール利用状況

(令和元年度)

利用件数 83件

利用者数 30,225人

ホールオープンからの延べ利用者数 1,306,517人

(4) サン・アルプス大町利用状況

(令和元年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
件数	33	1	4	43	32	37	40	43	35	31
利用者人員	753	200	830	1,622	1,227	1,037	1,779	1,945	1,272	620
開館日数	23	22	26	25	26	23	25	24	24	23

月別	2	3	計
件数	34	19	352
利用者人員	1,646	116	13,047
開館日数	23	25	289

10 女性未来館ピュア

女性労働者や勤労者家庭の女性などを対象に、職業生活や家庭生活に必要な相談、指導、講習等を行います。また、レクリエーションなど余暇活動の場所と機会を提供し、女性の福祉を総合的に増進するよう努めます。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所 在 地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 令和元年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	ピュアに輝く女性講座	4～1月	10回	17人延139人
	楽しい寄せ植え講座	5～2月	5回	12人延60人
	欲張り健康講座	4月～10月	7回	25人延133人
	世界にたった一つだけのマイオカリナづくり	4月～5月	5回	14人延67人
	欲ばり健康講座	4月～10月	7回	25人延175人
	保育サポーター養成講座	5～6月	4回	9人延11人
	古布を楽しむ	5月	21回	10人延10人
	一貫張りでかご・お盆を作ろう	6月	3回	11人延28人
	手相を通してコミュニケーションを	5月	2回	17人
	かおりの福祉学	6月～7月	4回	12人延33人
	木彫アート	5月～6月	5回	11人延51人
	秋のトレッキング 伝説の地巡り	10月～11月	6回	23人延103人
	キルトでシシャモづくり	10月	1回	10人
	パステルアートを楽しむ	10月～11月	3回	4人延11人
	心和むイラストを描こう	11月～12月	3回	8人延23人
	親子でスイーツづくり	12月	1回	7組延12人
貯金運動&コンディショニング	12月～1月	4回	16人延48人	
そ の 他	運営委員会	10月	1回	10人
	平地区男女共同参画	12月	1回	90人
	利用者の会清掃 (春・秋)	6.12月	2回	158人
	第32回仁科の里ピュアフェスタ	11月	1回	250人
	サークル1日体験 ピュアコンサート	随時 11月	3サークル6回 1回	45人 250人

(3) 令和元年度施設利用状況（平公民館との合計）

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総数	女性労働者	勤労者 家庭主婦等	その他	備考
総数	22,181	650	21,511	20	
個別利用	20	10	10	0	
グループ活動等 による団体利用	22,161	640	21,501	20	
その他	0	0	0	0	

イ 年齢階層別利用者数

総数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
22,181	350	950	1,623	19,258

パステルアート作品



キルトでシシャモづくり



寄せ植え講座



秋のトレッキング 大町の伝説の地巡り

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか事務室、研究室、保存作業室、収蔵庫。 2 階…学習室 94 m ² のほか資料室、整理作業室、収蔵庫（貴重品庫）。 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の知 りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週日曜日、国民の祝日、年末年始
おもな収蔵品	市内各地の遺跡出土品（常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など） 加藤朝鳥（文筆家）資料<加藤寿々子寄贈品>、市所蔵・寄託古文書、市所蔵絵画など

(2) 利用状況（令和元年度）

文化財講座（5 回開催）受講者 56 人

1 2 重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋（おもや）…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴 史的資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日 及び翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

(2) 利用状況（令和元年度）

開館日数 177 日 入館者数 747 人（免除者含む）

13 社会教育施設一覧表

令和2年10月1日現在

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
	文化会館 サンアール ブス大町	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,172席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハール室(94㎡) ほか 展示室(90㎡) 研修室(75人) 大会議室(200人) 小会議室(25人) 中会議室(50人) 軽食喫茶室(40人) 和室研修室(20人) 実習室(16人) 講堂(300人) 視聴覚室(30人) 会議室(15人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室1(20人)学習室2(20人)学習室3(20人) 研修室1(30人) 研修室2(15人) 視聴覚室・同和教育資料室(20人) 図書室 料理実習室(20人) 講堂(200人)	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 作業室(20人)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378		月曜・年末年始 8:30~17:00	展示室(4室) 資料室(20人)	使用料金表による
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	会議室(2室) 講堂 研修室(2室) 学習室(4室) 視聴覚室 栄養指導室	使用料金表による ◇中央保健センター
蔵の音楽館	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用量 1時間100円
図書館	大町4710-6	1,181.83	毎週月曜日・毎月最終火曜日 ・蔵書点検期間 (毎年6月中旬の10日間程度) ・年末年始 火・水・木・金(国年) 9:30~18:30 土・日・祝日 (4月~11月) 9:30~18:00 (12月~3月) 9:30~17:00	1階 一般コーナー、児童コーナー 新聞・雑誌コーナー、AVコーナー 2階 視聴覚室(兼学習室50人)、会議室 地域資料室、保存図書コーナー	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室) 整理作業室(2室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(80人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
ギャラリー いーずら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	不定期(展示期間外) 10:00~18:00	展示室1(88㎡) 展示室2(32㎡)	展示室1 7,000円 展示室2 3,000円
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30 土曜・日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 展示フロア 図書コーナー	使用料金表による ◇コミュニケーションセンター・アキツ
コミュニケーション センター・アキツ	八坂1133-1 0261-26-2380				使用料金表による ◇八坂公民館
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (重要文化財指定施設)	大人 300円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

近年の高度情報化や少子高齢化の進展等、社会情勢の変化によりライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツに対する意識や取組方も多様化しています。

また、スポーツ種目の多様化や地域におけるスポーツを通じたコミュニケーションの拡大の他、新型コロナウイルス感染症の影響による市民の運動機会の減少に伴い、スポーツ活動の重要性が高まってきています。

こうした環境の変化により、スポーツや健康、体力づくりへの市民の関心が高くなる一方で、実際の活動に、なかなか参加できない市民も多く、環境も十分とはいえない状況です。

市民ひとり一人が、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上等により「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 令和2年度重点目標

ア 生涯スポーツの推進

- (ア) 各年代に対応した多様なスポーツ教室の充実、スポーツクラブ活動の促進
- (イ) 体力や年齢、興味、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりの推進
- (ウ) 生涯スポーツ推進のための情報発信
- (エ) 誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入と普及、指導者の育成

イ 競技スポーツの推進と指導者の育成

- (ア) 体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等各種スポーツ団体との連携による組織強化と人材育成等
- (イ) 学校体育・部活との連携、地域指導者の発掘

ウ スポーツを通じたコミュニティづくり

- (ア) 総合型地域スポーツクラブの育成、支援等
- (イ) 各地域で実施するスポーツ大会や教室、健康づくり等による地域コミュニティの再生、支援
- (ウ) 地域特性を生かしたスポーツ振興

エ スポーツ施設の整備と有効活用

- (ア) 市民のスポーツ活動や健康づくり、交流の場等の拠点としての体育施設の整備、充実
- (イ) 市民のスポーツの推進や競技水準の向上のため、レベルの高い大会やイベント等が可能な施設、環境整備

(2) 事業計画 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止にした事業も記載しています。)

ア 各種スポーツ大会等の開催 (主催大会)

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭 (夏季)
8月	・木崎湖カップカヌー大会
9月	・大北縦断駅伝大会の協力 ・大北スポーツ競技会 ・B & G会長杯争奪少年武道大会
10月	・大町アルプスマラソン
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー、スノーボード大会
3月	・ワンバウンドふらばーるバレーボール大会 ・スポフェスおおまち

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室 (年長児クラス) ・保育園・幼稚園巡回運動あそび (年中・長児クラス)
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー教室 ・少年海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」
成年期	・ママさんフリータイム広場 (夏季) ・ウォータースポーツ体験教室 ・トレーニング講座 ・スキー、スノーボード、クロスカントリー教室
実年期	(運動の習慣づけのための教室) ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・ボディーバランス教室 ・体力測定会

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

体育協会等と連携し立川市、氷見市、島田市とのスポーツ交流の派遣など

エ 体育協会等スポーツ団体との連携

(ア) 体育協会事業全般にわたる支援

(イ) 「大町スポーツクラブ」への支援

(ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

(ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力 (海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキー体験活動、歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出し及びスポーツ推進委員による指導など)

(イ) 中学校部活動への支援 (指導者の発掘、確保など)

- カ 体育施設利用調整会議の開催
 - (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
 - (イ) 大会行事等主幹団体の利用調整（年1回）
 - (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
 - (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

- キ 体育施設の整備充実、保守管理
 - (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
 - (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
 - (ウ) 運動公園野球場整備
 - (エ) 運動公園弓道場射場屋根塗装
 - (オ) ローラースケート場塗装

- ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力
 - (ア) 大町アルプスマラソン
 - (イ) 長野県縦断駅伝競走
 - (ウ) 長野県高校駅伝
 - (エ) スポーツ振興事業補助金の活用促進

- ケ 各種スポーツ指導者の育成
 - (ア) スポーツ振興事業補助金（指導者育成）の活用促進

- コ その他の施策
 - (ア) 総合体育館の有効活用の推進
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② 大町市公共施設予約システムの運用

 - (イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携
 - ① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力
 - ② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名	称	位 置	開設年	面 積	利 用 競 技 種 目
1	西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S 42年	12, 198. 02㎡	野球 (2面) ・ ソフトボール (2面) ・ ゲートボール (2面) ・ スケートリンク (冬季のみ1面) ・ ナイター照明
2		体 育 館	〃	S 42年	966. 24㎡	バレーボール (1面) ・ バドミントン (3面) ・ 空手道 ・ バスケケットボール (1面) ・ 剣道
3	運動公園	陸上競技場		S 53年	21, 755㎡	フィールド内 (ゲートボール16面) ・ サッカー (1面)
		メインスタンド棟		S 53年	1, 097㎡	収容 メインスタンド1, 400人、 芝スタンド4, 000人
		サッカー場		S 52年	12, 401㎡	更衣室 (2) ・ 倉庫 (3) ・ 役員室 (1) ・ 事務室 (1) ・ 医務室 (1) ・ 便所ほか (1面)
4		メインスタンド棟		S 52年	739㎡	収容 メインスタンド743人、 芝スタンド2, 000人
5	運動公園	総合体育館		S 63年	4, 863. 01㎡	大アリーナ (1, 627㎡) ・ 小アリーナ (558㎡) ・ ランニングコース (170m) ・ バレーボール (4面) ・ バドミントン (13面) ・ バスケケットボール (3面) ・ 卓球 (20台) ・ 体力測定室ほか
6		マレットゴルフ場		S 57年	36ホール	キャラリー (固定席544) ・ 収容人数2, 500人
7		こども広場		S 63年	18ホール (パー72)	北コース 18ホール (パー72)
8		弓道場		S 62年	900㎡	南コース 18ホール (パー72)
9		多目的広場		S 62年	609. 22㎡	遠的 (1面) ・ 近的 (1面)
10		庭球場		S 62年	255. 57㎡	射場129. 6㎡、 的場44. 82㎡、 6人立、 更衣室81. 15㎡
11		野球場		S 62年	10, 005㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面) ・ ナイター照明 (2面分)
12		メインスタンド棟		S 56年	2, 815. 74㎡	全天候 (4面) ・ ナイター照明 ※R元年度全面改修
13		第一屋内運動場		S 58年	2, 908. 8㎡	全天候 (4面) ・ ナイター照明 ※R元年度一部改修
14		第二屋内運動場		S 61年	12, 677. 232㎡	野球 (1面)
15		多目的芝生広場		S 61年	704. 09㎡	収容人数 スタンド562人、 内野階段スタンド352人、 内野芝生スタンド1, 070人、 外野スタンド2, 616人、 更衣室 (2) ・ 事務室 (1) ・ 本部席 (1) ・ 放送室 (1) ・ 便所ほか
16		体 育 研 究 セ ン タ ー		H 6年	987. 13㎡	運動場 (925. 44㎡) ・ ゲートボール (2面) ・ テニス (1面) ・ ミニサッカー (1面)
17		野球場		H 29年	1, 977. 58㎡	運動場 (1, 738. 39㎡) ・ ゲートボール (2面) ・ テニス (2面) ・ ミニサッカー (2面)
18		野球場		H 25年	2, 700㎡	ゲートボール (2面) ・ グラウンドゴルフ (1面)
19	野球場		H 27年	796. 22㎡	軽運動室 ・ 会議室	
20	野球場		S 35年	10, 550㎡	野球 (1面)	
21	野球場		S 52年	12, 071㎡	ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面) ・ ナイター照明 (ソフトボール1面分)	
22	野球場		S 57年	1, 550㎡	ゲートボール (2面)	
23	野球場		S 54年	1, 627. 8㎡	第1体育館 (747. 3㎡) ・ バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (3面) ・ テニス (1面) ・ 卓球 (4台) ・ 第2体育館 (524. 7㎡) ・ 柔道 (50畳) ・ 空手道 ・ 剣道	
24	野球場		S 54年	450㎡	カスー (27) ・ OPヨット (14) ・ 12ftヨット (2) ・ カッター (2) ・ ボードセーラー (9) ほか	
25	野球場		S 57年	11, 279㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ ナイター照明	
26	野球場		S 42年	9, 845. 41㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ ナイター照明	
27	野球場		H 8年	5, 000㎡	ソフトボール (1面) ・ ナイター照明	
28	野球場		H 29年	495㎡	バレーボール (1面) ・ バドミントン (1面) ※H 6年建築	
29	野球場		S 50年	11, 000㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ ナイター照明	
30	野球場		S 50年	1, 636㎡	人工芝 (2面) ・ ナイター照明	
31	野球場		S 58年	1, 703㎡	バスケケットボール (1面) ・ バレーボール (2面) ・ バドミントン (4面) ・ 卓球室	
32	野球場		S 60年	6, 000㎡	ソフトボール (1面) ・ ナイター照明	
33	野球場		H 5年	1, 467㎡	屋内ゲートボール (1面)	
34	野球場		H 5年	9, 600㎡	18ホール	
35	野球場		S 48年	6, 492㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ 各種スポーツ	
36	野球場		H 4年	28, 873㎡	ネットなし : 野球 (2面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー ・ ラグビー (1面)	
37	野球場		H 3年	5, 857㎡	人工芝 (6面)	
38	野球場		S 62年	1, 171㎡	屋外 (1面)	
39	野球場		S 57年	2, 531㎡	屋外 (2面) ・ ナイター照明	
40	野球場		H 5年	1, 411㎡	屋内 (1面)	
41	野球場		S 56年	650㎡	バスケケットボール (1面) ・ バレーボール (1面) ・ バドミントン (3面)	

(学校施設)

名	称	位 置	面 積	利 用 競 技 種 目
1	大町東小学校	運動場	12, 067㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面)
2	大町西小学校	体育館	1, 002㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (2面) ・ バドミントン (2面)
3	大町南小学校	運動場	13, 169㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ サッカー (1面)
4	大町北小学校	体育館	1, 486㎡	バレーボール (2面) ・ 剣道 ・ 空手道
5	八坂小学校	運動場	16, 275㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面) ・ テニス (1面)
6	八坂小学校	体育館	1, 247㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (2面)
7	八坂小学校	運動場	10, 215㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面)
8	八坂小学校	体育館	982㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (3面)
9	八坂小学校	運動場	8, 190㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ サッカー (1面)
10	八坂小学校	体育館	1, 027㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (2面)
11	八坂小学校	運動場	12, 878㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ サッカー (1面)
12	八坂小学校	体育館	1, 227㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (2面)
13	八坂小学校	運動場	12, 455㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面)
14	八坂小学校	体育館	4, 073㎡	バレーボール (4面) ・ バスケケットボール (3面) ・ 卓球 (10台)
15	八坂小学校	運動場	14, 198㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (2面) ・ サッカー (1面)
16	八坂小学校	体育館	1, 487㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (2面)
17	八坂小学校	運動場	9, 388㎡	野球 (1面) ・ ソフトボール (1面) ・ サッカー (1面)
18	八坂小学校	体育館	1, 198㎡	バレーボール (2面) ・ バスケケットボール (1面) ・ バドミントン (4面)

※東小体育館では、バスケケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

体育施設の利用状況

(人)

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大アリーナ	37,048	33,382	31,433	30,760
小アリーナ	20,013	18,200	18,023	19,309
トレーニングルーム	5,876	6,689	6,320	5,618
総合体育館会議室	1,423	1,332	1,215	843
陸上競技場	11,808	10,228	8,926	7,846
サッカー場	8,020	4,720	4,270	5,065
クレート庭球場	11,752	13,381	5,057	3,326
全天候庭球場	30,056	27,205	27,091	16,619
野球場	9,022	7,841	7,179	6,191
マレットゴルフ場	12,313	8,928	8,505	7,122
弓道場	1,919	2,513	2,031	2,093
多目的広場	14,970	10,602	14,043	15,828
第一屋内運動場	17,403	16,708	14,058	15,556
第二屋内運動場		13,369	29,136	29,375
第二屋内運動場会議室			1,400	1,567
多目的芝生広場	2,307	1,840	3,077	1,645
体育研修センター	2,962	3,157	2,133	2,020
B & G 第一体育室	9,337	9,484	8,397	7,962
B & G 第二体育室	3,472	3,216	3,213	4,138
B & G 多目的広場	3,738	3,860	2,095	1,840
B & G 艇庫	1,170	715	778	
平野球場	2,374	1,603	3,562	4,328
平運動場	7,735	4,364	6,868	8,830
西公園体育館	13,204	15,778	12,692	12,555
西公園運動場	7,723	8,453	5,231	4,297
常盤運動場	4,300	5,446	4,810	5,530
社公園運動広場	7,195	5,383	5,257	6,317
社体育館		2,388	2,675	3,070
東小体育館	7,487	7,016	6,658	6,077
西小大アリーナ	13,090	15,109	9,629	9,485
西小小アリーナ	1,676	756	524	762
南小体育館	6,342	7,441	6,241	5,508
北小体育館	1,936	1,196	1,910	1,628
一中大アリーナ	7,681	7,737	6,207	7,848
一中小アリーナ	1,693	1,749	2,033	1,651
仁中体育館	8,662	6,198	6,199	5,896
仁中柔剣道室	302	403	1,044	913
東小グラウンド	850	768	1,441	1,203
西小グラウンド	1,215	770	520	320
南小グラウンド	184	450	700	680
北小グラウンド	800	746	564	618
一中グラウンド	48	0	0	0
仁中グラウンド	200	180	230	200
八坂運動場	765	365	333	270
八坂テニスコート	42	6	22	3
八坂マレットゴルフ場	153	50	0	130
八坂トレーニングセンター	2,998	1,263	2,612	1,299
八坂山村広場	0	0	0	0
八坂ゲートボール場	1,475	1,380	800	180
八坂小学校グラウンド	0	0	0	0

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
八坂小学校体育館	285	266	100	200
八坂中学校グラウンド	0	0	0	0
八坂中学校体育館	0	0	0	0
美麻運動場	299	15	223	329
美麻丸山公園運動場	300	300	80	151
美麻テニスコート	2,726	2,139	2,150	1,551
美麻トレーニングセンター	1,885	1,263	1,101	1,452
大塩屋外ゲートボール場	0	0	0	0
二重屋内ゲートボール場	580	208	102	26
千見屋外ゲートボール場	0	0	0	0
美麻小中学校校庭	0	0	0	454
美麻小中学校体育館	0	0	0	96
合計	306,429	296,171	290,898	278,580

スポーツ大会等開催状況

(令和元年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
令和元年度 市民スポーツ祭 夏季大会（体協共催）	6月30日 7月7日	開会式 運動公園陸上競技場 16競技 運動公園ほか市内体育施設	1,140人
第69回 大町市民登山	8月24日 ～25日	針ノ木岳～蓮華岳	12人
第18回 大北スポーツ競技会	9月22日 29日	開会式 運動公園陸上競技場 11競技 運動公園ほか市内体育施設	906人
第36回大町 アルプスマラソン	10月20日	開会式 運動公園陸上競技場 (主催 アルプスマラソン実行委員会)	2,634人
第40回 B&G少年武道大会	9月22日	会場 B&G体育館	56人
令和元年度 市民スケート大会	令和2年 1月26日	西公園スケート場 暖冬の影響等により中止	—
令和元年度 市民スキー大会	令和2年 3月8日	鹿島槍スキー場 雪不足により中止	—
第8回 ワンバウンドふらば ーるバレー大会	令和2年 3月15日	会場 運動公園総合体育館 (主管 大町市スポーツ推進委員) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防 止のため中止	—

スポーツ教室の開催状況

(令和元年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
ママさん フリータイム広場	6月18日 ～7月16日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ニュースポーツ等 指導者 スポーツ推進委員	228人 (託児あり)
運動遊び教室 (年長児2クラス)	5月14日 ～10月1日 (全18回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 運動あそび 指導者 運動あそび講師	570人
小学生等カヌー体験 教室	6月～8月	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーほか 指導員 職員	650人
ウォータースポーツ 体験教室	8月13日	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーほか 指導員 職員	36人
ジョギング同好会	8月3日 ～10月12日 (全10回)	会場 運動公園周辺道路 内容 ジョギング 指導者 スポーツ推進委員	22人
ボディバランス教室	11月18日 ～12月16日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ストラクライン・ヤマトボディローリング・ キックボックスエクササイズ 指導者 スポーツ推進委員ほか	95人
親子ふれあい スポーツ教室	11月15日 ～12月20日 (全6回)	会場 仁科台中学校体育館 内容 ニュースポーツほか 指導者 スポーツ推進委員	210人
小学生スキー教室	1月25日 ～2月1日 (全2回)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員 雪不足により中止	—
スキー・スノボ・ク ロスカントリー教室 with ママさん フリータイム広場	1月27日 2月25日 (全4回)	会場 爺ガ岳スキー場ほか 内容 母親対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員 雪不足により室内で軽運動を実施	6人 (託児あり)
ワンバウンドふらば ーるバレー教室	2月26日 ～3月11日 (全3回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ワンバウンドふらばーるバレー 指導者 スポーツ推進委員 コロナウイルスのため中止	—
パーソナルトレーナ ーによるトレーニン グ講座	4月11日 ～3月24日 (全26回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 トレーニング 指導者 長谷川 幸	504人

令和2年度 教 育 要 覧

令和2年11月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
